

統計数理研究所
研究リポート83

国民性の研究 第10次全国調査

— 1998年全国調査 —

[第3刷]

1999年3月

統計数理研究所

当研究所では,

Annals of the Institute of Statistical Mathematics

統計数理

Computer Science Monographs

統計数理研究所研究リポート

統計数理研究所研究教育活動報告

統計数理研究所共同研究リポート

Research Memorandum

統計計算技術報告

を発行している. 統計数理研究所研究リポートは, 研究調査のデータの発表を目的とし, 必要に応じて発行する.

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopy, recording, or any information storage and retrieval system, without permission in writing from the institute.

統計数理研究所

106-8569 東京都港区南麻布 4-6-7

電話 03-3446-1501 (代表)

統計数理研究所
研究レポート83

国民性の研究 第10次全国調査

— 1998年全国調査 —

[第3刷]

1999年3月

統計数理研究所

第 10 次日本人の国民性調査委員会

研究レポート作成班

中村 隆 (統計数理研究所 調査実験解析研究系 教授)

土屋隆裕 (統計数理研究所 調査実験解析研究系 助教授)

前田忠彦 (統計数理研究所 調査実験解析研究系 助手)

坂元慶行 (統計数理研究所 調査実験解析研究系 教授)

目 次

I 概 要	1
§ 1 研究経過と調査項目	1
§ 2 調査実施の概要	2
(第2刷の変更点)	3
(第3刷の変更点)	5
§ 3 文献と資料	8
II 質問文と集計表	33
集計表の見方	33
§ 1 基本項目	35
§ 2 個人的態度	42
§ 3 宗 教	73
§ 4 子 供・家	77
§ 5 身近な社会	83
§ 6 男女の差異	99
§ 7 一般の社会的問題	111
§ 8 政治的態度	132
§ 9 日本人・人種	139
III 調査項目一覧表	149

I 概 要

このレポートは、統計数理研究所国民性調査委員会が5年ごとに実施している「国民性調査」の第10次全国調査(1998年10月実施)の結果を単純集計の形でまとめたものである。

比較のため、今回調査した質問についての過去の結果も掲げてある。

詳細な分析結果は統計数理研究所の『統計数理』や *Annals of the Institute of Statistical Mathematics* などに発表される予定である。

§ 1 研究経過と調査項目

1. 研究の経過

国民性の研究は1953年(昭和28年)に第1次の全国調査を行ない、以後5年ごとに全国調査を行なっている。したがって、今回(1998年)は10回目に当たり、初回から数えて45年目の調査である。

これらの全国調査はすべて全国民(20歳以上の有権者)を対象にする標本調査であり、各回ともそれぞれ層別多段サンプリングで3,000～6,000名の対象者を抽出し、個別面接聴取法で実施している。調査項目には、面接での質問項目と、サンプリングの段階で得られる性、年齢、地方別等の基本属性項目とがあり、毎回共通して使用している項目が多いが、昭和48年(1973年)の第5次以降の調査では、それまで継続してきた質問項目を主とする調査票(K型とよぶ)と、新規の質問項目に重きを置く調査票(M型とよぶ)との2種類の調査票を用いている。

なお、5年ごとの全国調査のほかに関連する多くの調査を行なっている。それらの調査もそれぞれ独立の調査であると同時に、相互に比較・参照できるよう企画されている。

2. 調査方法と質問項目の選定

面接調査という調査方法の制約はあるが、質問項目の選定に当たっては、できるだけ広い範囲から国民性の特徴をよく表わす題材を選ぶようにしている。

質問項目の選定手順の概略はつぎのとおりである。まず、国民性に言及している内外の文献や資料から、日本人の性質、態度、特徴とみられるものを収集し整理する。つぎに、これらの事項から面接調査に適するような質問項目を作成する。最後に質問全体の構成を吟味して、調査票にまとめる。

なお、質問項目は、各種のプレテストや吟味調査で検討を加えるとともに、何回もくり返して調査に用い、その性質を確かめるよう努めている。

3. 第10次全国調査の調査項目

今回の調査のねらいは大別して2つある。第1は、45年来の継続質問項目によって、日本人の“ものの考え方”の変化の様相を明らかにすることであり、第2は、従来との継続を図りながら、将来の新しい動向を探り、それに備えることである。第10次調査としては、20世紀後半の日本人の意識動向を総括するという趣旨から、必ずしも継続的に調査はしていないが過去に質問したことのある項目も採用するよう努めた。

なお、今回の調査でも、K型調査票とM型調査票の2種類の調査票を用いたが、両者とも、従来の継続質問項目と新しい質問項目の双方を含んでいる。ただし、K型調査票はM型に比べると長期にわたる継続質問項目の割合が大きくなっている。

K型とM型にわけるのは、一人の対象者にかかる負担(面接時間の長さ)を軽減するためである。調査に当たっては、サンプルを二分し、奇数のサンプル番号の対象者にはK型調査票を、偶数のサンプル番号の対象者にはM型調査票を用いた。

§2 調査実施の概要

1. サンプリング

基本的な方針は第8次、第9次全国調査と同じである(『第5日本人の国民性』1992年、p.483参照)。すなわち、全国の市区町村を、地方性および人口規模を考慮して層別し、各層より合計300地点を選ぶものとし、まず市区町村を確率比例抽出で選ぶ(第1段サンプリング)。ついで、選んだ各市区町村から投票区を同じように確率比例抽出で選ぶ(第2段サンプリング)。最後に、抽出した投票区の有権者名簿より、その地点に割り当てた人数(平均14)のサンプルを等間隔抽出法で選んだ(第3段サンプリング)。計画サンプル数は全国で4,200人である(表1参照)。

2. 調査の実施

第3段目の有権者個人のサンプリング(関東圏以外の220地点分)と面接調査の実施は社団法人中央調査社に委託し、調査は1998年9月下旬から10月上旬にかけて実施した。関東圏(80地点分)の有権者個人のサンプリングは統計数理研究所が行なった。

調査員は、最初に担当地点の市・区役所、町・村役場に行き、指示された方法で有権者名簿からサンプルを抽出した。つぎに、サンプルとなった対象者の家を訪問して対象者本人に会い、調査票どおりの質問をし、対象者の回答を調査票に記録した(個別面接聴取法)。

この結果、最終的な回収サンプル数はK型調査票1,339、M型調査票1,341、合計2,680で、これは計画サンプル数4,200の64%に当たる。

なお、調査不能の詳細は表2～表5に示されているので参照されたい。

第10次全国調査の実施では、つぎの方々のご協力を得た。

まず質問文の作成に関しては、海野道郎氏(東北大学教授)にご協力いただいた。サンプリング資料の収集にあたっては、毎日新聞社世論・選挙センターのご協力を得た。また、調査の準備から研究リポート作成までの作業を宮崎寿美子さんに担っていただいた。さらに、回収データの点検作業等では、今川かついさん、今川みさきさん、忽那映子さん、栗原順子さん、桑島圭子さんにご支援いただいた。これらの方々にご心からお礼申し上げたい。

今回の調査委員は、坂元慶行(委員長)、鈴木義一郎、村上征勝、馬場康維、高木廣文、中村隆、吉野諒三、前田忠彦、土屋隆裕(以上、統計数理研究所)である。ほかに、林知己夫(統計数理研究所名誉教授)、西平重喜(統計数理研究所名誉所員)、鈴木達三(統計数理研究所名誉教授)、林文(東洋英和女学院大学教授)の四氏のご支援を得た。

なお、この研究リポートの作成には、坂元慶行、中村隆、前田忠彦、土屋隆裕が当たった。

第2刷(1999.5)の変更点 第1刷では以下の3箇所不備があったので、第2刷で訂正した。

- (p.7) 「表5 市郡別サンプル、不能率」
- (p.39) 「#1.5 市郡別、X(1998)」の集計
- (p.40) 「#1.6 地方別、V(1973)」の集計

表1 「第10次 日本人の国民性調査」 サンプリング

計画サンプル総数 = 4,200
 計画地点総数 = 300
 1地点あたりサンプル数 = 14
 1地点あたり母集団人口 = 326,733

層 コード	層名称	母集団人口 (有権者)	地点総数	割当 地点数	割当サン プル数
	《全国計》	98,019,819	3,287	300	4,200
1. K-00	区 部	21,588,792	150	68	925
S	〈市部計〉	54,893,107	647	167	2,353
2. S-01	人口20万人以上の市	24,822,046	92	75	1,064
3. S-02	人口20万人未満の市	30,071,061	555	92	1,289
4. G-00	郡 部	20,747,838	2,462	63	889
5. O-00	沖縄県	790,082	28	2	33

表2 調査不能の理由

		死 亡	移 転	該 当 者 な し	尋 ね 当 ら ず	長 期 不 在	病 気	一 時 不 在	拒 否	老 衰	そ の 他	計
K	実数	5	73	2	13	30	51	196	341	2	23	736
	%	1	10	0	2	4	7	27	46	0	3	100
M	実数	4	86	7	23	37	41	190	364	11	21	784
	%	1	11	1	3	5	5	24	46	1	3	100
K+M	実数	9	159	9	36	67	92	386	705	13	44	1,520
	%	1	10	1	2	4	6	25	46	1	3	99

第3刷(2000.9)の変更点

- (p. 31-32) 「§3 文献と資料」に1999年以降2000.9までの分を追加
- (p. 133) 「#8.1 政治家にまかせるか、IV (1968)」の計を「3,033」に訂正

表3 性別・年齢別サンプル、不能率

	性別		年齢別										計	
	男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69		70 ~
K 回収 サンプル	615	724	102	71	109	98	113	152	136	131	145	110	172	1,339
不 能 サンプル	399	337	97	81	73	67	57	89	70	60	46	38	58	736
不能率	39	32	49	53	40	41	34	37	34	31	24	26	25	35
計 画 サンプル	1,014	1,061	199	152	182	165	170	241	206	191	191	148	230	2,075
行%	49	51	10	7	9	8	8	12	10	9	9	7	11	100

	性別		年齢別										計	
	男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69		70 ~
M 回収 サンプル	601	740	84	104	95	120	106	155	141	137	149	108	142	1,341
不 能 サンプル	420	364	108	91	84	74	68	64	68	61	46	45	75	784
不能率	41	33	56	47	47	38	39	29	33	31	24	29	35	37
計 画 サンプル	1,021	1,104	192	195	179	194	174	219	209	198	195	153	217	2,125
行%	48	52	9	9	8	9	8	10	10	9	9	7	10	98

	性別		年齢別										計	
	男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69		70 ~
K + M 回収 サンプル	1,216	1,464	186	175	204	218	219	307	277	268	294	218	314	2,680
不 能 サンプル	819	701	205	172	157	141	125	153	138	121	92	83	133	1,520
不能率	40	32	52	50	43	39	36	33	33	31	24	28	30	36
計 画 サンプル	2,035	2,165	391	347	361	359	344	460	415	389	386	301	447	4,200
行%	48	52	9	8	9	9	8	11	10	9	9	7	11	100

95国勢調査%	49	51	10	9	8	8	9	11	9	8	8	7	12	99
---------	----	----	----	---	---	---	---	----	---	---	---	---	----	----

表4 地方別サンプル、不能率

	地 方 別 *											
	K				M				K + M			
	計サ ンプ 画ル	回サ ンプ 収ル	不サ ンプ 能ル	不 能 率	計サ ンプ 画ル	回サ ンプ 収ル	不サ ンプ 能ル	不 能 率	計サ ンプ 画ル	回サ ンプ 収ル	不サ ンプ 能ル	不 能 率
北海道	98	61	37	38	99	68	31	31	197	129	68	35
東北	152	112	40	26	155	104	51	33	307	216	91	30
関東	662	367	295	45	686	363	323	47	1,348	730	618	46
中部(東)	154	107	47	31	157	108	49	31	311	215	96	31
中部(西)	200	127	73	37	204	140	64	31	404	267	137	34
近畿	368	233	135	37	374	236	138	37	742	469	273	37
中国	140	103	37	26	144	107	37	26	284	210	74	26
四国	70	54	16	23	71	48	23	32	141	102	39	28
九州	231	175	56	24	235	167	68	29	466	342	124	27
計	2,075	1,339	736	35	2,125	1,341	784	37	4,200	2,680	1,520	36

* 沖縄は九州を含む。

表5 市郡別サンプル、不能率

	市 郡 別											
	K				M				K + M			
	計サ ンプ 画ル	回サ ンプ 収ル	不サ ンプ 能ル	不 能 率	計サ ンプ 画ル	回サ ンプ 収ル	不サ ンプ 能ル	不 能 率	計サ ンプ 画ル	回サ ンプ 収ル	不サ ンプ 能ル	不 能 率
6大都市*	314	163	151	48	336	156	180	54	650	319	331	51
人口50万 以上の市	219	141	78	36	227	133	94	41	446	274	172	39
人口20～ 50万の市	449	286	163	36	461	300	161	35	910	586	324	36
人口10～ 20万の市	266	169	97	36	266	170	96	36	532	339	193	36
人口5～ 10万の市	231	146	85	37	232	156	76	33	463	302	161	35
人口5万 未満の市	147	113	34	23	147	95	52	35	294	208	86	29
町村	449	321	128	29	456	331	125	27	905	652	253	28
計	2,075	1,339	736	35	2,125	1,341	784	37	4,200	2,680	1,520	36

* 6大都市は、東京23区、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市。

§ 3 文献と資料

1953年

1. 林知己夫 他：「わが国国民性の統計数理的研究」 **日本統計学会会報**, 1953年度, 52-66, 1953年.

1954年

2. 林知己夫：「統計的立場から見た国民性の研究」 **教育統計**(文部省調査局), 第30号, 16-53, 1954年.

1959年

3. 「国民性の研究 第II次調査(その1)」 **数研研究レポート**, No. 5, 1959年.
4. 「国民性の研究 第II次調査(改訂増補版)」 **数研研究レポート**, No. 6, 1959年.
5. 西平重喜：「日本人のものの考え方」 **経済評論**, 8月臨時増刊号, 135-157, 1959年.

1960年

6. 「国民性の研究 岐阜吟味調査」 **数研研究レポート**, No. 7, 1960年.
7. 林知己夫：「日本人の国民性」 **自由**, 1月号, 58-72, 1960年.
8. Hayashi, C. *et al.* : A Study of Japanese National Character, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. I, 1-30, 1960.
9. Hayashi, C. *et al.* : A Study of Japanese National Character—Part II—, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. II, 1-30, 1960.

1961年

10. 統計数理研究所国民性調査委員会： **日本人の国民性**, 至誠堂, 1961年.
11. 西平重喜：「国民性第II次調査—その1—」 **日本統計学会会報**, 1959年度, 52-53, 1961年.
12. 鈴木達三：「国民性第II次調査—その2—」 **日本統計学会会報**, 1959年度, 53-55, 1961年.

1963年

13. 「国民性の研究 岐阜調査(1963)」 **数研研究レポート**, No. 8, 1963年.
14. 西平重喜： **日本人の意見**, 誠信書房, 1963年.

1964年

15. 「国民性の研究 第III次調査 1963年調査」 **数研研究レポート**, No. 11, 1964年.

16. 「成年の常識—壮丁検査との比較— および職業の社会的評価—職業ランキング—」
数研研究レポート, No. 12, 1964年.
17. 鈴木達三: 「国民性の研究—第III次全国調査について」**統計数理研究所彙報**, 11
巻2号, 105-176, 1964年.
18. 鈴木達三: 「戦後日本人は変わったか」**自由**, 10月号, 140-147, 1964年.

1965年

19. 林知己夫・西平重喜・鈴木達三: **図説・日本人の国民性**(至誠堂新書5), 至誠堂,
1965年.

1966年

20. 「国民性の研究 1965年調査」**数研研究レポート**, No. 14, 1966年.
21. Suzuki, T.: A Study of the Japanese National Character—Part III, The Third
Survey, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. IV, 15-64, 1966.

1967年

22. 林知己夫・鈴木達三: 「日本人の自画像—日本人は日本人をどう考えているか—」
自由, 1月号, 170-178, 1967年.

1968年

23. 鈴木達三: 「日本人の国民性・ものの考え方」**統計**(日本統計協会), 19巻2号(2月
号), 22-27, 1968年.

1969年

24. 「宗教調査—1968年, 国際比較—」**数研研究レポート**, No. 21, 1969年.
25. 「国民性の研究 第4次全国調査—1968年全国調査—」**数研研究レポート**, No. 23,
1969年.
26. 「国民性の研究—I. 1969年岐阜パネル調査 —II. 面接調査と自記式調査の比較
(1969年岐阜自記式調査)」**数研研究レポート**, No. 24, 1969年.
27. 林知己夫: 「日本人の国民像—15年の変化」**自由**, 7月号, 49-57, 1969年.
28. 西平重喜: 「日本人の宗教的態度と国際比較」**布教**, 6月号, 344-356, 7月号, 403-
417, 1969年.
29. 西平重喜: 「15年間の意見の変化—国民性第IV次調査より」**国民生活研究**, Vol. 8,
No. 7 (7月号), 44-50, 1969年.
30. 西平重喜: 「国民性の変化」**新聞広告ゼミナール講演集第20回** 全日本新聞広告
会, 全日本新聞広告会, 75-111, 1969年.

1970年

31. 統計数理研究所国民性調査委員会：第2日本人の国民性、至誠堂、1970年。
32. 林知己夫：「断絶する政党と国民の政治意識」自由、2月号、90-95、1970年。
33. 西平重喜：「国民性調査からみた現代日本人の考え方感じ方」TVVレポート、No. 67、81-85、1970年。
34. Nisihira, S. : Les Attitudes des Japonais envers la Religion, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 6, 81-94, 1970.
35. Suzuki, T. : A Study of the Japanese National Character--Part IV--, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 6, 1-80, 1970. (245. に収録)

1971年

36. 青山博次郎：「日本人－統計から見た特性」毎日夫人、No. 136 (5月号)、4-18、1971年。
37. 鈴木達三：「海外における日系人のパースナリティ調査企画」AD.R (KYOWA AD-REVIEW), No. 54, 9-13, 1971年。

1972年

38. 林知己夫：「比較研究のむずかしさ」共同通信 1972年7月5日。
39. 林知己夫：「日本人の国民性について—第20回国際心理学会に出席して」産経新聞 1972年8月25日。
40. Hayashi, C. : The Japanese National Character, *Abstract Guide of XXth International Congress of Psychology, 1982 Tokyo*, 46-47, 1972.
41. 西平重喜：「西洋人は宗教についてどう考えているか」宗務時報、No. 29, 2-21, 1972年。
42. 鈴木達三：「ハワイ(ホノルル)における日系人—日本人の国民性調査との関連—」学術月報、Vol. 24, No. 11 (308号、2月)、37-44, 1972年。
43. 鈴木達三：「変わりゆく日本人の国民性」PRニュース(電通PRセンター)、77号(9月1日号)、3, 1972年。
44. Suzuki, T., Hayashi, C., Nisihira, S., Aoyama, H., Nomoto, K., Kuroda, Y. and Kuroda, A. K. : A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 7, 1-60, 1972. (245. に収録)

1973年

45. 「ハワイにおける日系人—日本人の国民性調査との関連、—ハワイ日系人の言語調査」数研研究レポート、No. 33, 1973年。

46. 林知己夫：「比較文化研究に対する一つの統計的分析の試みⅡ—態度数量化の方法Ⅳ—」**統計数理研究所彙報** 21巻2号, 173-181, 1973年.
47. 林知己夫(編著)・西平重喜・野元菊雄・鈴木達三：**比較日本人論**(中公新書333), 中央公論社, 1973年.
48. 西平重喜：「日本人の国民性について」**心と社会**, Vol. 4, No. 1, 47-53, 1973年.
49. 坂元慶行：「公共意識と個人の権利意識」**AD.R (KYOWA AD-REVIEW)**, No. 63, 19-23, 1973年.
50. 鈴木達三：「比較文化研究に対する一つの統計的分析の試みⅠ—日本人の国民性とハワイ日系人—」**統計数理研究所彙報** 21巻2号, 125-171, 1973年.

1974年

51. 「国民性の研究 第5回全国調査—1973年全国調査—」**数研研究レポート**, No. 38, 1974年.
52. 林知己夫：**社会と統計**(放送大学実験放送テキスト), 旺文社, 1974年.
53. 林知己夫：「日本人の心は変わったか—調査からみた日本人の国民性」**日本人研究 1/日本人の心は変わったか**(日本人研究会編), 至誠堂, 1-80, 1974年.
54. 林知己夫：「日本人の科学文明観」**内外教育**(時事通信社) 1974年5月24日.
55. 林知己夫：「日本人はどのように変わったか—国民性の調査から—」**町内週報**, 1165号(6月), 3-7, 1974年.
56. 林知己夫：「日本人の心のヒダ—根深い義理人情構造—」**朝日新聞** 1974年6月17日夕刊.
57. 林知己夫：「現代の若者も人情課長を好む—現代若者の職場意識—」**あすへの力**(神奈川県青少年育成課), No. 62(7月), 1-4, 1974年.
58. 林知己夫：「日本人の国民性をめぐって」**教育と医学**, 10月号, 11-19, 1974年.
59. 林知己夫：「相互理解の構造—年齢の断絶はくるか—」**青淵**, 10月号, 23-25, 1974年.
60. 林知己夫：「義理と人情」**にんげん百科**, 5巻7号(通巻59号), 1414-1415, 1974年.
61. 林知己夫：「日本人は健全である—国民性調査20年で明らかにされた真実」**正論**, 12月号, 52-60, 1974年.
62. 林知己夫：「日本人の偉人観」**歴史と旅**, 1巻12号(12月号), 141-142, 1974年.
63. 林知己夫：「日本人の価値観」**自治研修**, 12月号, 11-20, 1974年.
64. Hayashi, C. : Time, Age and Ways of Thinking—From the Kokuminsei Surveys, *Journal of Asian and African Studies*, Vol. X, No. 1 & 2, 75-85, 1974. (76.に収録)

65. Hayashi, C. and Suzuki, T. : Quantitative Approach to a Cross-Societal Research; A Comparative Study of Japanese Character, Part I, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 26, No. 3, 455-516, 1974. (245. に収録)
66. 西平重喜：「政治についての世論の変化—20年史」**日本人研究1/日本人の心は変わったか** (日本人研究会編), 至誠堂, 81-113, 1974年.
67. 西平重喜：「変わった国民性 変らない国民性」**自由**, 8月号, 174-182, 1974年.
68. Nisihira, S. : Changed and Unchanged Characteristics of the Japanese, *Japan Echo*, Vol. I, No. 2, 22-32, 1974. (67. の英訳)
69. Sakamoto, Y. : A Study of the Japanese National Character—Part V, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 8, 1-57, 1974.
70. 鈴木達三：「国民性国際比較の方法—日本人とハワイ日系人の比較から」**日本人研究1/日本人の心は変わったか** (日本人研究会編), 至誠堂, 258-318, 1974年.
71. 鈴木達三：**日本人の国民性20年の変遷** (電通モチベーションリサーチ研究委員会定例研究会レポートNo. 12), 1974年6月.

1975年

72. 統計数理研究所国民性調査委員会：**第3日本人の国民性**, 至誠堂, 1975年.
73. 林知己夫：「日本人の意識は支持政党によりどうちがうか」**日本人研究2/支持政党別日本人集団** (日本人研究会編), 至誠堂, 1-54, 1975年.
74. 林知己夫：「統計で日本人の心を描く」**日立**, 37巻2号(2月号), 8-9, 1975年.
75. 林知己夫：「日本人の生きがいについて」**貯蓄時報**(日銀), No. 106(12月号), 12-22, 1975年.
76. Hayashi, C. : Time, Age and Ways of Thinking—From the Kokuminsei Surveys, in *Adult Episode in Japan* (ed. Plath, D. W.), E. J. Brill, Leiden, 75-85, 1975. (64. を収録)
77. Hayashi, C. and Suzuki, T. : Quantitative Approach to a Cross-Societal Research; A Comparative Study of Japanese Character, Part II, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 27, No. 1, 1-32, 1975. (245. に収録)
78. 西平重喜：「日本人の宗教的態度の変化」**布教**, 29巻3号, 174-180, 1975年.
79. 坂元慶行：「戦後日本の経済と人間の意識構造」**週刊東洋経済**, No. 3868(4月24日臨時増刊号), 117-125, 1975年.
80. 鈴木達三：「比較文化研究の問題」**数理科学**, 13巻3号(No. 141), 39-44, 1975年.

1976年

81. 林知己夫：「変わる思想・変わらぬ思想」**信濃毎日** 1976年1月1日.

82. 林知己夫：「調査は何を物語るか」 *スチールデザイン* (新日本製鉄(株)), 154号, 3-5, 1976年.
83. 林知己夫：「日本人の考え方はどう変わったか」 *日本文化会議月例懇談会収録集*, No. 85, 1976年.
84. 林知己夫：「世論をどうつかまえるか」 *日本人研究4/世論とは何か* (日本人研究会編), 至誠堂, 1-48, 1976年.
85. 林知己夫：「比較研究ということ」 *統計* (日本統計協会), 27巻10号(10月号), 55-56, 1976年.
86. 鈴木達三：「地域開発、地域社会に関する世論」 *昭和50年代の地域開発を考えるための地域開発関連文献に関する調査・報告書* (日本地域開発センター), 95-98, 1976年3月.
87. 鈴木達三：「思想と年齢」 *数理学*, 14巻1号(No. 151), 9-14, 1976年.

1977年

88. Research Committee on the Study of the Japanese National Character : *Changing Japanese Value—Statistical Surveys and Analyses—*, Inst. Statist. Math., 1977.
89. 林知己夫：「世論調査の発展と現状」 *世論調査の現状と課題* (輿論科学協会編), 至誠堂, 51-88, 1977年.
90. 林知己夫：「日本人の対外国態度と対外国人態度」 *日本人研究5/日本人の対外国態度* (日本人研究会編), 至誠堂, 191-214, 1977年.
91. 林知己夫：「価値観、につぼん 1895-1977」 *週刊東洋経済*, No. 4001 (4月16日号), (中綴じ4頁), 1977年.
92. 林知己夫：「計量的日本人論」 *文化庁月報*, No. 105 (6月号), 4-7, 1977年.
93. Hayashi, C. : Changes in Japanese Thought during the Past Twenty Years, *Text of Seminar in the U. S. (March 1977)*, "Nihonjin Kenkyukai Changing Values in Modern Japan", 3-57, 1977. (245. に収録)
94. Suzuki, T. and Jitodai, T. T. : Migration and Prefectural Identification in Four Japanese Prefectures, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 29, No. 3, B, 511-525, 1977. (245. に収録)
95. Suzuki, T. and Kuroda, Y. : A Note on Immigrants to Hawaii, in *A Comparative Sociological Study on the Adaptation and Attitude Change of Asian Emigrants* (Migration Research Series No. 1), Dept. of Sociology, The University of Tsukuba, 30-39, 1977.

1978年

96. 林知己夫：「日本人の対外国態度」 *正論*, 4月号, 31-32, 1978年.

97. 林知己夫：「革新政党の伸びる条件」 **Voice**, 4月号, 38-39, 1978年.
98. 林知己夫：「日本人のグループダイナミックス」 **グループダイナミックス** (三隅二不二編), 旺文社, 128-137, 1978年.
99. 林知己夫：「国民性」 **実験心理学研究**, 17巻2号, 153, 1978年.
100. 林知己夫：「政治意識の生態—時と場合で使い分け—」 **朝日新聞** 1978年12月16日夕刊.
101. Hayashi, C. : Japanese Attitude and Party Preference, *Japan Echo*, Vol. 5, Special Issue, 58-81, 1978. (73. の翻訳)
102. Hayashi, C. : Nationality, in *Social Psychology in Japan* (ed. Misumi, J.), Osaka University, 674-675, 1978.
103. Kuroda, Y., Suzuki, T. and Hayashi, C. : A Cross-National Analysis of the Japanese Character among Japanese-Americans in Honolulu, *Ethnicity*, Vol. 5, 42-59, 1978.
104. 西平重喜： **世論反映の方法** (第II部第1章 日本人の国民性), 誠信書房, 1978年.

1979年

105. 「国民性の研究 第6回全国調査—1978年全国調査—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 46, 1979年.
106. 林知己夫：「戦後日本人の意識はどう変わったか—『伝統保守』へのUターンと“新型日本人”の出現」 **朝日ジャーナル**, Vol. 21, No. 32 (8月17-24日合併号), 96-100, 1979年.
107. 林知己夫：「都会人の自然観をめぐって—自然のあり方を考えるに際して—」 **グリーンエイジ** (財日本緑化センター), 9月号, 7-14, 1979年.
108. 林知己夫：「若い者は何をどう考えているか—国民性調査から—」 **教育委員会月報**, No. 350 (10月号), 4-15, 1979年.
109. 林知己夫：「現代日本人の意識」 **自警**, 12月号, 24-28, 1979年.
110. 林知己夫 他：「政治意識の感情構造の研究」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 45, 1979年.
111. 林知己夫 他：「比較文化における統計的手法の確立—ハワイにおける日系人・非日系人調査—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 47, 1979年.
112. 鈴木達三：「いつ日本人は勤勉ではなくなるか」 **文化会議**, 第121号 (7月号), 29-30, 1979年.

1980年

113. 林知己夫：「日本人の自然観—心を探る統計的方法—(講演概要)」 **新大広報** (新潟大学), 55号, 17-19, 1980年.

114. 林知己夫：「比較研究における方法論」 **日本人とアメリカ人—比較研究の意義・方法・可能性** (トヨタ財団第7回助成研究報告会資料), 74-92, 1980年2月.
115. 林知己夫：**政治意識の感情構造と無党派層** ((社)民主主義研究会報告書), 1980年3月.
116. 林知己夫：「心にとって加齢とは何か」 **日本老年医学会雑誌**, 17巻3号, 270-273, 1980年.
117. 林知己夫：「日本人の意識の底を探る試み—お化けへの関心—」 **数理科学**, 18巻6号(No. 204), 23-32, 1980年.
118. 林知己夫：「若者の心の流れ」 **更正保護** (法務省保護局編), 7月号, 32-35, 1980年.
119. 林知己夫：「多元化社会の青少年」 **教育委員会月報**, No. 362 (10月号), 4-15, 1980年.
120. 林知己夫・鮑戸弘・佐藤誠三郎・岩男寿美子・児島和人・田崎篤郎：**多元化社会の生活関心** (多元化社会の生活関心研究グループ—大平総理の政策研究会報告書9), 1980年7月.
121. Hayashi, C. : Data Analysis in a Comparative Study, in *Data Analysis and Informatics* (eds. Deday, E. et al.), North-Holland, 31-51, 1980.
122. Leghorn, R. Y. and Suzuki, T. : Age, Sex and Cohort: Explicating Social Change in Post-War Japan, *Proceedings of Kyoto American Studies Summer Seminar*, Doshisha University, 95-124, 1980.
123. 水野欽司：「“暮し方”意識の動き—日本人の国民性調査から—」 **統計** (日本統計学会), 31巻5号(5月号), 1-6, 1980年.
124. 西平重喜：「世論調査にみる同時代史(1)日本人の考え方の変化」 **自由**, 9月号, 18-27, 1980年.
125. 西平重喜：「日本人は宗教をどう考えているか」 **宗務時報**, No. 55, 7-20, 1980年.
126. Research Committee on the Study of Honolulu Residents : Honolulu Residents and Their Attitudes in Multi-Ethnic Perspective: Toward a Theory of the American National Character, *The ISM Monograph* 1, The University Press of Hawaii, 1980.
127. 鈴木達三：「アメリカ人の価値意識—国際比較の方法論的研究—」 **日本人とアメリカ人—比較研究の意義・方法・可能性—** (トヨタ財団第7回助成研究報告会資料), 40-73, 1980年2月.
128. 鈴木達三：「調査データの見方」 **確率と統計—基礎から応用まで** (林知己夫編著, テレビ大学講座), 旺文社, 101-114, 1980.
129. Suzuki, T. : Pitfalls in Cross-Cultural Survey Research: Comparative Study of Value Systems in Japan and the United States, *Proceedings of Symposium on*

Research Funded by the Toyota Foundation, "The Japanese and the Americans: Significance, Methodology and Possibilities of International Comparative Studies", Toyota Foundation, 97-101, 1980.

1981年

130. 林知己夫：「国民性の比較研究—国際比較研究の問題点—」 **日本文化の国際性と国際化の研究** (放送開発センター, 昭和55年度), 33-54, 1981年3月.
131. 林知己夫： **日本人研究三十年** (至誠堂選書6), 至誠堂, 1981年.
132. 林知己夫 他：「社会的態度基底構造についての国際比較方法の標準化に関する研究」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 54, 1981年.
133. 水野欽司：「日本人の価値観を探る—第6回・国民性調査から」 **公務員の倫理と価値観** (地方自治研究資料センター編, 自治研修叢書), 第一法規, 165-187, 1981年.

1982年

134. 統計数理研究所国民性調査委員会： **第4日本人の国民性**, 出光書店, 1982年.
135. 林知己夫：「考えの筋道による国際比較」 **現代社会心理学の発展 I** (三隅二不二・木下冨雄 編), ナカニシヤ出版, 291-339, 1982年.
136. 林知己夫：「日本人論について」 **文化と人間** (東洋他 編, 講座現代の心理学), 小学館, 365-424, 1982年.
137. 林知己夫：「日本人の生きがいの変遷—国民性調査から—」 **教育と医学**, 30巻4号(4月号), 12-22, 1982年.
138. 林知己夫：「計量的国民性研究の立場—日本人研究を中心として—」 **学術月報**, Vol. 35, No. 3 (6月号), 162-167, 1982年.
139. 林知己夫：「法意識の底にあるものを求めて」 **現代日本人の法意識** (日本文化会議編), 第一法規, 45-83, 1982年.
140. 林知己夫：「敬う (特集—新・日本人像—)」 **月刊NIRA**, 9月号, 13-15, 1982年.
141. 林知己夫・穂山貞登 編： **日本と東南アジアの文化摩擦**, 出光書店, 1982年.
142. 林知己夫・米沢弘： **日本人の深層意識** (NHK ブックス414), 日本放送出版協会, 1982年.
143. 林知己夫 編著： **日本人の政治感覚** (日本人研究6), 出光書店, 1982年.
144. 中村隆：「ベイズ型コウホート・モデル—標準コウホート表への適用—」 **統計数理研究所彙報**, 29巻2号, 77-97, 1982年.
145. 中村隆：「新しいコウホート分析について(1)~(3)」 **中央調査報**, No. 297~299, 6-7, 1982年.
146. 鈴木達三：「“ものの考え方”の変化と現代」 **サイコロジー**, 3巻1号, 32-41, 1982年.

147. 鈴木達三：「国際比較の方法—日本人とアメリカ人—」**数理科学**, 20巻8号(No. 230), 7-21, 1982年.
148. 鈴木達三・中村隆：「継続調査の二次分析」**統計数理研究所 研究レポート**, No. 56, 1982年.
149. 鈴木達三・中村隆・柳原良造：「マーケティングの新しい手法コウホート分析(上)」**DIAMONDハーバード・ビジネス**, Vol. 7, No. 4, 39-48, 1982年.
150. 鈴木達三・中村隆・柳原良造：「注目されるコウホート分析(下)マーケティング戦略にどうかすか」**DIAMONDハーバード・ビジネス**, Vol. 7, No. 5, 86-95, 1982年.

1983年

151. 林知己夫：「女の意見の特色」**日本人研究7/日本の女性の生き方**(杉山明子編), 出光書店, 163-179, 1983年.
152. 林知己夫：「日本人論と行動計量学」**行動計量学**, 10巻1号, 1-6, 1983年.
153. 林知己夫：「日本人の健康観」**労働衛生**, 27巻7号(7月号), 30-31, 1983年.
154. 林知己夫：「比較日本人論」第26回TASK講演会予稿, TASKたばこ総合研究センター, 1983年11月.
155. Hayashi, C. : International Understanding through Broadcasting and the Basic Structure of the Social Behavior of People, *HHF News Letter*, ISSUE No. 16, May, 35-49, 1983.
156. 中村隆：「女性の意見の世代差」**日本人研究7/日本の女性の生き方**(杉山明子編), 出光書店, 44-83, 1983年.
157. 坂元慶行：「日本人の国民性」**文化のなかの人間**(永野重史・依田明編, 発達心理学への招待7), 新曜社, 199-214, 1983年.
158. 坂元慶行：「日本における意識動向の新たな断面—人間関係観を中心として—」**統計数理研究所彙報**, 31巻2号, 133-149, 1983年.
159. 鈴木達三：「コウホート分析—継続調査データの組織的利用法—」**マーケティング・リサーチャー**, No. 30, 43-49, 1983年.
160. 鈴木達三・中村隆：「社会調査データの集積化と二次分析」**統計数理研究所 研究レポート**, No. 58, 1983年.

1984年

161. 「伝統志向の中にも新しい日本人—文部省国民性調査」**朝日新聞** 1984年11月17日.
162. 「義理人情は健在—日本人の国民性調査」**産経新聞** 1984年11月17日.

163. 「大切なのは国より家族—国民性調査『義理人情』も健在」 **東京新聞** 1984年11月17日.
164. 「『国家より家族大切』—国民性の研究まとまる、本音思考派が増加」 **日本経済新聞** 1984年11月17日.
165. 「『清く正しく』が激減—30年前に比べ義理人情変わらず、伝統回帰も」 **毎日新聞** 1984年11月17日.
166. 「国民性の研究 第7回全国調査—1983年全国調査—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 60, 1984年.
167. 林知己夫: **調査の科学**(ブルーボックス571), 講談社, 1984年.
168. 林知己夫: 「科学のおとし穴はどこにあるか」 **あいまいさを科学する**(林知己夫・坂本賢三編, ブルーボックス554), 講談社, 17-54, 1984年.
169. 林知己夫: 「国際比較からみた私の日本人論」 **集団力学研究所紀要**, 第1巻, 21-59, 1984年.
170. 林知己夫: 「現代日本人の心情風景」 **産経新聞** 1984年12月10日夕刊.
171. 林知己夫: 「日本人の国民性に関する十章—30年間の調査から—」 **教育委員会月報**, No. 412 (12月号), 4-25, 1984年.
172. 林知己夫: 「新しい日本人が生まれつつある」 **内外教育**(時事通信社) 1984年12月7日.
173. 林知己夫 他: 「社会調査による国際比較方法の研究」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 59, 1984年.
174. 林知己夫 他: 「新しい価値意識の形成過程に関する計量的研究」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 61, 1984年.
175. 林知己夫 編著: **多次元尺度解析法の実際**, サイエンス社, 1984年.
176. Hayashi, C., Suzuki, T. and Hayashi, F.: Comparative Study of Lifestyle and Quality of Life: Japan and France, *Behaviormetrika*, No. 15, 1-17, 1984. (245.に収録)
177. Hayashi, C. and Suzuki, T.: Changes in Belief Systems, Quality of Life Issues and Social Conditions over 25 Years in Post-War Japan, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Part B, Vol. 36, No. 1, 135-161, 1984. (245.に収録)
178. 中村隆: 「コウホート分析の方法」 **ブレーン**, Vol. 24, No. 9, 58-65, 1984年.
179. The Research Committee on the Study of Japanese Americans in Honolulu, Hawaii: Honolulu's Japanese Americans in Comparative Perspective, *The IS-M Monograph 2*, The University Press of Hawaii, 1984.
180. 四手井綱英・林知己夫 編著: **森林をみる心**, 共立出版, 1984年.

181. 鈴木達三：「世代論の計量的展開—市場調査データとコウホート分析—」 **ブレーン**, Vol. 24, No. 9, 45-56, 1984年.
182. 鈴木達三：「社会調査による国際比較研究における問題」 日本心理学会シンポジウム予稿集, 1984年10月.
183. Suzuki, T. : Ways of Life and Social Milieus in Japan and the United States: A Comparative Study, *Behaviormetrika*, No. 15, 77-108, 1984. (245.に収録)

1985年

184. 統計数理研究所国民性調査委員会：「国民性調査のコウホート分析—第3版—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 62, 1985年.
185. 林知己夫：「新しい日本の誕生」 **世界日報** 1985年1月13日.
186. 林知己夫：「私の世界—日本人研究(上・下)」 **信濃毎日** 1985年5月24, 25日夕刊.
187. 林知己夫：「国際理解と国際比較」 **統計数理**, 33巻2号, 265-272, 1985年.
188. 林知己夫：「日本人のものの考え方・感じ方—国際交流における問題点—」 **国際を考えるシリーズ**(国際商科大学国際交流研究所), 第3号, 3-27, 1985年.
189. 林知己夫：「国際文化比較の意味を考える」 **文化会議**, 189号(3月号), 26-37, 1985年.
190. 林知己夫： **データ解析法**, 日本放送出版協会, 1985年.
191. 林知己夫：「翻訳とは何なのか」 **言語生活**, 創立400号記念臨時増刊号, 58, 1985年.
192. 林知己夫：「日本人の国民性」 **教育展望**, 5月号, 20-21, 1985年.
193. 林知己夫：「国際相互理解と日本人研究—『同じ所』『異なる所』を見極めよ」 **産経新聞** 1985年5月21日. (194.に収録)
194. 林知己夫：「国際相互理解と日本人研究—『同じ所』『異なる所』を見極めよ」 **正論** 1985年. (193.を収録)
195. 林知己夫：「調査極意」 **市場調査**(輿論科学協会), 183号, 1-15, 1985年.
196. 林知己夫：「新しい日本人とはどんな人間？」 **NEXT**, 8月号, 98-102, 1985年.
197. 林知己夫・赤池弘次・鈴木達三： **統計学特論**, 日本放送出版協会, 1985年.
198. 林知己夫 他：「比較文化研究における連鎖的調査手法の確立とその展開—1983年ハワイ・ホノルル市民調査—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 63, 1985年.
199. Hayashi, C., Hayashi, F., Suzuki, T., Lebart, L. and Kuroda, Y. : Comparative Study of Quality of Life and Multidimensional Data Analysis: Japan, France and the U. S.(Hawaii), in *Fourth International Symposium, Data Analysis and Informatics (Versaille, France, Oct., 1985)*, INRIA, 573-583, 1985. (245.に収録)
200. Leghorn, R. Y. and Suzuki, T. : Age, Sex and Cohort: Explicating Social Change in Post-War Japan, *Behaviormetrika*, No. 18, 1-16, 1985. (245.に収録)

201. 中村隆：「ベイズ型コウホートモデル」**統計数理**, 33巻1号, 47-48, 1985年.
202. 西平重喜：「日本人の国民性の研究」**ケース・データにみる社会・世論調査** (代表者岡本宏), 芦書房, 36-72, 1985年.
203. 坂元慶行：**カテゴリカルデータのモデル分析**, 共立出版, 1985年.
204. 鈴木達三：「消費者行動の新しいとらえ方—コウホート分析を中心に—」**講演集・消費者行動を考える** (流通問題研究協会編, IDR 研究資料98), 59-77, 1985年11月.

1986年

205. 林知己夫：「世界の孤児にならないために」**集団力学研究所紀要**, 第3巻, 110-119, 1986年.
206. 林知己夫：「日本人の休み方、遊び方」**観光文化**(交通公社), Vol. 59, No. 91, 1, 1986年.
207. 林知己夫：「日本人の国民性」**新教育社会学辞典**, 東洋館出版社, 697-698, 1986年.
208. 林知己夫：「国民性の統計的研究—来しかたを見て行くさきを思う」**統計数理**, 34巻1号, 1-27, 1986年.
209. 林知己夫・鈴木達三：**社会調査と数量化—国際比較におけるデータ解析—**, 岩波書店, 1986年.
210. 林知己夫 他：「比較文化研究における連鎖的調査手法の確立とその展開—改定増補版—」**統計数理研究所 研究レポート**, No. 64, 1986年.
211. Kuroda, Y., Hayashi, C. and Suzuki, T. : The Role of Language in Cross-National Surveys: American and Japanese Respondents, *Applied Stochastic Models and Data Analysis*, Vol. 2, 43-59, 1986. (245. に収録)
212. The Research Committee on the Study of Honolulu Residents : The Third Attitudinal Survey of Honolulu Residents, *The ISM Monograph 3*, The University of Hawaii Press, 1986.
213. 鈴木達三：「国際比較の現状とあり方—『意識の国際比較方法論の研究』に向けて—」**文化会議**, 第209号(11月号), 34-41, 1986年.

1987年

214. 林知己夫：「日本人の人間関係」**人間関係論** (三隅二不二編著), 日本放送出版協会, 166-182, 1987年.
215. Hayashi, C. : Statistical Study of Japanese National Character, *Journal of Japan Statistical Society*, Special Issue, 71-95, 1987.
216. Kuroda, Y., Kuroda, A. K., Hayashi, C. and Suzuki, T. : The End of Westernization and the Beginning of New Modernization in Japan: Attitudinal Dynamics of

- the Japanese, 1953-1983, *The Arab Journal of the Social Sciences*, Vol. 2, No. 1, 18-36, 1987. (245. に収録)
217. 中村隆：「公開講演会要旨：年齢・時代・世代の違いを探る—コウホート分析の方法—」*統計数理*, 35 卷 1 号, 103-107, 1987 年.
218. 中村隆：「年齢・時代・世代の違いを捉える—ベイズ型コウホートモデル—」*インフォメーション*, Vol. 6, No. 9, 74-84, 1987 年.
219. 坂元慶行：「階層帰属意識の実像」*統計数理*, 35 卷 2 号, 233-255, 1987 年.
220. Sasaki, M. and Suzuki, T. : Changes in Religious Commitment in the United States, Holland, and Japan, *American Journal of Sociology*, Vol. 92, No. 5, 1055-1076, 1987. (245. に収録)
221. Trommsdorff, G., Suzuki, T. und Sasaki, M. : Soziale Ungleichheiten in Japan und der Bundesrepublik Deutschland, *Kölner Zeitschrift für Soziologie und Sozialpsychologie*, Vol. 39, No. 3, 496-515, 1987. (245. に収録)

1988 年

222. 林知己夫：「日本人研究と国際比較」*総研ジャーナル*(関西学院大、総合研究室), No. 50, 1-22, 1988 年.
223. 林知己夫：生活価値観の変化とその測定 (マーケティング教育研究所レポート), 1988 年 3 月.
224. 林知己夫：日本人の心をはかる, 朝日新聞社, 1988 年.
225. 林知己夫：「玉虫色好きは貴重な態度—日本人の国民性調査から—」*産経新聞* 1988 年 7 月 26 日. (226. に収録)
226. 林知己夫：「日本人の国民性調査から」*正論*. 10 月号, (オピニオン正論欄 30-31), 1988 年. (225. を収録)

1989 年

227. 「国民性の研究 第 8 回全国調査—1988 年全国調査—」*統計数理研究所 研究レポート*, No. 69, 1989 年.
228. 林知己夫：「心をはかる 数量からみた日本人の心」*東京新聞* 1989 年 2 月 2 日.
229. 林知己夫：「心をはかる 変わらぬ心、変わる心」*東京新聞* 1989 年 2 月 9 日.
230. 林知己夫：「心をはかる 変化する『心の構図』」*東京新聞* 1989 年 2 月 16 日.
231. 林知己夫：「心をはかる 変化の節目は 15 年刻み」*東京新聞* 1989 年 2 月 23 日.
232. 林知己夫：新型日本人と企業の対応 (マーケティング教育研究所レポート), 1989 年 3 月.
233. 林知己夫：「人間の価値観の重要性」*RANDOM*(リサーチ・アンド・デベロップメント), 5 号, 1-2, 1989 年.

234. 林知己夫：「日本人の科学文明観と情操教育」**悠**(筑摩書房), 10月号, 18-21, 1989年.
235. 林知己夫：「国際化と日本人の意識」**商工ジャーナル**, 11月号, 9, 1989年.
236. Hayashi, C. : Cultural Link Analysis for Comparative Research—A New Approach to the Exploration of Structure in Ways of Thinking Applied to Cross-National Analysis of General Social Attitude, *The Survey Statistician (ISI)*, No. 21, 14-15, 1989.
237. Kuroda, Y. and Suzuki, T. : Language and Attitude: A Study in Arabic, English, and Japanese on the Role of Language in Cross-Cultural Thinking, in *Thinking Across Cultures: The Third International Conference on Thinking* (eds. Topping, D. M., Crowell, D. C. and Kobayashi, V. N.), Lawrence Erlbaum Associates, 147-161, 1989. (245.に収録)
238. Sasaki, M. and Suzuki, T. : New Directions in the Study of General Social Attitudes: Trend and Cross-National Perspectives, *Behaviormetrika*, No. 26, 9-30, 1989. (245.に収録)
239. Suzuki, T. : Cultural Link Analysis: Its Application to Social Attitudes—A Study Among Five Nations, *Bulletin of the International Statistical Institute, Proceedings of the 47th Session, Paris*, 343-379, 1989. (245.に収録)
240. 吉野諒三：「『BatchelderとRomneyの正答のないテスト理論』の拡張とアンケート調査法への応用」**統計数理**, 37巻2号, 171-188, 1989年.

1990年

241. 林知己夫：「世論調査による日本人の国民性」**日本世論調査協会報**, 64号, 3-9, 1990年.
242. 林知己夫：「日本人の価値観」**道標**(実務研究所), 3月号, 8-9, 1990年.
243. 林知己夫：「国民性」**新教育学大事典**, 第一法規, 239-240, 1990年.
244. Hayashi, C. : Statistical Study of Japanese National Character and Its International Comparison among Five Nations, *The Survey Statistician (ISI)*, No. 23, 14-15, 1990.
245. Hayashi, C. and Suzuki, T. (eds.) : *Beyond Japanese Social Values—Trend and Cross-National Perspectives*, Inst. Statist. Math., 1990.

1991年

246. 林知己夫：「日本人の人間関係」**人間関係論**(三隅二不二編著), 放送大学教育振興会, 177-192, 1991年. (214.の改訂版)

247. 林知己夫：「国民性をはかる」**市場調査**(輿論科学協会), 206-207 合併号, 2-32, 1991 年。
248. 林知己夫：「国際社会とストレス」**ストレスと人間科学**, No. 6-1, 35-37, 1991 年。
249. 林知己夫：「日本の若者」**Phase**(リサーチ・アンド・ディベロプメント社年報), 91, 2-23, 1991 年。
250. 林知己夫：**生活価値観とグローバル・マーケティング**, マーケティング教育研究所(R&D), 1991 年。
251. 林知己夫：「豊さの中の日本—その歩みと国際社会の中で」**進路ジャーナル**, 11 月号, 94-97, 1991 年。
252. 林知己夫・鈴木達三・林文他：「意識の国際比較方法論の研究: 連鎖的比較方法の確率とその展開—1988 年ハワイ・ホノルル市民調査—」**統計数理研究所 研究レポート**, No. 70, 1991 年。
253. 林知己夫・鈴木達三・三宅一郎・佐々木正道・林文・吉野諒三：「意識の国際比較方法論の研究—新しい統計的社会調査法の確立とその展開—」**統計数理研究所 研究レポート**, No. 71, 1991 年。
254. 林知己夫・鈴木達三・三宅一郎・佐々木正道・林文・吉野諒三：「意識の国際比較方法論の研究—5 カ国調査共通ファイルコードブック—」**統計数理研究所 研究レポート**, No. 72, 1991 年。
255. Hayashi, C., Suzuki, T. and Leghorn, R. Y. : *The Japanese and the Americans—Comparative and Time Series Surveys of the Institute of Statistical Mathematics*, Inst. Statist. Math., 1991.
256. Hayashi, C., Suzuki, T. and Sasaki, M. (Eds.) : *Japanese/American National Character Conference (Hoover Institution, Stanford University, March 17-18, 1990)*, Inst. Statist. Math., 1991.
257. Kuroda, Y. and Suzuki, T. : Arab Students and English: the Role of Implicit Culture, *Behaviormetrika*, 29, 23-44, 1991.
258. Nishihira, S. et Condominas, C. : *L'opinion des Japonais; Société-Travail-Famille à travers les Sondages—comparaison internationale—*, Paris, Sudestasia, 1991.
259. 坂元慶行：「継続調査から何がわかるのだろうか—『中流意識』の分析をめぐる素朴な疑問—」**中央調査報**, No. 400, 1-5, 1991 年。
260. Sakamoto, Y. : *Categorical Data Analysis by AIC*, Kluwer Academic Publishers, Dordrecht, Holland, 1991.

1992 年

261. 統計数理研究所国民性調査委員会：**第 5 日本人の国民性 戦後昭和期総集**, 出光書

- 店, 1992年.
262. ブラジル日系人意識調査委員会：『ブラジル日系人の意識構造』, サンパウロ人文科学研究所, 1992年.
263. 林知己夫：「国際的にみた日本人の意識」 *よろん* (世論調査協会報), 70号, 69-74, 1992年.
264. 林知己夫：「日本人の考えの筋道を探る」 *Satya* (東洋大学), 7, 12-14, 1992年.
265. 林知己夫：『生活価値観の動向と市場創造の課題』, マーケティング教育研究所 (R&D), 1992年.
266. 林知己夫：「統計的方法による『日本人の国民性研究と意識の国際比較』方法論序説」 *日本統計学会誌*, 21巻3号, 353-367, 1992年.
267. 林知己夫：「公開講演会要旨：日本人の国民性」 *統計数理*, 40巻2号, 227-234, 1992年.
268. Hayashi, C. : Belief Systems and the Japanese Way of Thinking: Interchronological and International Perspectives, in *Social, Educational and Clinical Psychology, Proceedings of the 22nd International Congress of Applied Psychology: Volume 3*, Lawrence Erlbaum Associates, Publishers, 3-34, 1992.
269. Hayashi, C. : Quantitative Social Research—Belief Systems, the Way of Thinking and Sentiments of Five Nations—, *Behaviormetrika*, Vol. 19, No. 2, 127-170, 1992.
270. Hayashi, C., Suzuki, T. and Sasaki, M. : *Data Analysis for Comparative Social Research, International Perspectives*, Elsevier, North-Holland, 1992.
271. Kuroda, Y. and Suzuki, T. : A Comparative Analysis of the Arab Culture: Arabic, English, and Japanese Languages and Values, *Behaviormetrika*, 30, 35-53, 1992.
272. Kuroda, Y. and Suzuki, T. : Tahalil Mugarin Thagafa Al-Arabiye; Al-Lughat Wa Al-Queem Al Arabiye Wa Al-Ankelizidyyeh Wa Al-Yabaniye (A Comparative analysis of the Arab culture; Arabic, English and Japanese language and values), *Al Mustaqbal Al Arabi (The Arab Future)*, No. 16, 14-31, 1992.
273. 中村隆：「継続調査データによって社会の変化をとらえる—コウホート分析の方法—」 *教育と情報*, No. 406, 46-47, 1992年.
274. Nisihira, S. : Public Opinion in Japan—Changes and Comparisons, *Japanstudien*, Band 4, 37-54, 1992.
275. 坂元慶行：「統計学の効用」 *教育と情報*, No. 416, 46-47, 1992年.
276. 鈴木達三：「公開講演会要旨：国民性比較の方法論」 *統計数理*, 40巻2号, 243-253, 1992.

277. 吉野諒三：「社会調査データの国際比較の枠組みのための“superculture”」 **統計数理**, 40巻1号, 1-16, 1992年.
278. Yoshino, R. : An Extension of the Test Theory Without Answer Key by Batchelder and Romney for Social Survey Research, in *Social, Educational and Clinical Psychology. Proceedings of the 22nd International Congress of Applied Psychology: Volume 3* (eds. Motoaki, H., Misumi, J. and Wilpert, B.), Lawrence Erlbaum Associates, Publishers, 108, 1992.
279. Yoshino, R. : Superculture as a Frame of Reference for Cross-national Comparisons of National Characters, *Behaviormetrika*, Vol. 19, No. 1, 23-41, 1992.
280. Yoshino, R. : The Unbiased BRIGHT Model and Its Application to the Distinction of Responses to a Free answer Question in a Social Survey, *Behaviormetrika*, Vol. 19, No. 2, 83-96, 1992.

1993年

281. 林知己夫： **行動計量学序説**, 朝倉書店, 1993年.
282. 林知己夫：「国民性, 県民性」 **現代学校教育大辞典**, ぎょうせい, 1993年.
283. 林知己夫：「日本人の国民性」 **Phase** (リサーチ・アンド・ディベロプメント社年報), 93, 64-95, 1993.
284. 林知己夫： **生活価値観と消費市場**, マーケティング教育研究所 (R&D), 1993年.
285. 林知己夫・鈴木達三・三宅一郎・佐々木正道・林文・吉野諒三：「意識の国際比較方法論の研究—5カ国調査性別, 年齢別集計—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 73, 1993年.
286. 林知己夫・水野坦・鈴木達三・吉野諒三・林文・山本勝造・河合武夫・脇坂勝則・宮尾進・森幸一：「ブラジル日系人の意識調査—1991～1992年調査(改訂補遺版)」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 74, 1993年.
287. 鈴木達三：「“ものの考え方”を比較する—国民性比較の方法論—」 **教育と情報**, No. 420, 44-45, 1993年.
288. Suzuki, T. : Macro Analysis by Means of Cohort Analysis, *Behaviormetrika*, Vol. 20, No. 1, 77-90, 1993.

1994年

289. 「国民性の研究 第9回全国調査—1993年全国調査—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 75, 1994年.
290. 「『家族が一番大切』42%—文部省の国民性調査」 **朝日新聞** 1994年7月17日.
291. 「高まる家族志向、『金・名誉』より『のんき・趣味』—文部省国民性調査」 **産経新聞** 1994年7月17日.

292. 「衣食足りて強まる家族志向!?!—文部省の国民性調査」 **東京新聞** 1994年7月17日.
293. 「『社会に満足』初の50%—国民性調査」 **日本経済新聞** 1994年7月17日.
294. 「半数が『社会に満足』—国民性調査『緩やかな保守化』示す」 **毎日新聞** 1994年7月17日.
295. 「マイホーム派増え仕事志向には陰り—国民性調査」 **読売新聞** 1994年7月17日.
296. 「性の制約薄れ『人生に挑戦』」 **日本経済新聞** 1994年8月17日.
297. 林知己夫：「消費者意識の流れを読む」 **観光文化** (交通公社), Vol. 103, 2-7, 1994年.
298. 林知己夫：「心の変化と不変が緩なす風景」 **産経新聞** (正論) 1994年3月15日.
299. 林知己夫：「国民性と環太平洋構想」 **大平正芳記念財団レポート**, 11号, 11, 1994年.
300. 林知己夫：「国民性と環太平洋連帯構造」 **大平正芳政治的遺産**, 大平正芳記念財団, 341-348, 1994年.
301. 林知己夫：「日本人の国民性：変わらぬ点, 変わる点, 特殊な点, 普遍な点」 **ES-TRELA** (統計情報研究開発センター), 11月号, 28-32, 1994年.
302. 林知己夫：「日本人の国民性：変わらぬ点, 変わる点, 特殊な点, 普遍な点」 **ES-TRELA** (統計情報研究開発センター), 12月号, 28-31, 1994年.
303. 林知己夫：「日本人の国民性」 **フォーリン・プレス・センター**, 1994年.
304. Hayashi, C. : The Japanese National Character, *Foreign Press Center*, 1994.
305. 林文：「日本人の自然観—プリテスト調査から—」 **森林野生動物研究会誌**, No. 20, 25-30, 1994年.
306. 林文：「日本人の自然観についての予備的考察」 **NSS Journal**, No. 1, 159-174, 1994年.
307. Hayashi, F. : Comparative Analysis of the Japanese and Germans: Some Topics on Social Values, *Behaviormetrika*, Vol. 21, No. 1, 61-78, 1994.
308. Murakami, M. : Estimate of the Number of International Children in Japan, Based on Trends in Inter-marriage, *International Journal of Japanese Sociology*, No. 3, 29-43, 1994.
309. 坂元慶行：「質的な事象の要因を探す」 **データを科学的に読む**, 統計数理研究所創立50周年記念・日経NEEDS20周年記念講演, 1-5, 1994年.
310. 坂元慶行：「価値や視線は私生活に集中—『日本人の国民性調査』から—」 **FORUM** (日経産業消費研究所), No. 121, 2-3, 1994年.
311. 鈴木達三：「国際比較調査の事例から『日本語の国際化』を考える」 **日本語学**, 13巻13号, 43-59, 1994年.
312. 吉野諒三：「国民性意識の国際比較調査研究—統計数理研究所による社会調査研究の時間・空間的拡大—」 **統計数理**, 42巻2号, 259-276, 1994年.

1995年

313. 林知己夫：「国民性からみた日本の将来」**日本教育**, No. 221 (1月号), 12-14, 1995年.
314. 林知己夫：「日本人の心の行方」**ライフスタイル展望** 21, R&D, 1-39, 1995年.
315. 林知己夫：「日本人の柔かな思想」**市場調査**(輿論科学協会), 222号, 2-16, 1995年.
316. 林知己夫：**数字からみた日本人のこころ**, 徳間書店, 1995年.
317. 林知己夫：「日本の現象に浸透の中間的好み」**産経新聞**(正論) 1995年7月25日.
318. 林知己夫：「日本人の心を探る—日本人の『長』に対するイメージを通して—」**マーケティング教育研究所**, 6, 1, 1995年.
319. 林知己夫：「外交の基本は国民性の理解に」**産経新聞**(正論) 1995年10月21日.
320. 林知己夫・林文：「国民性の国際比較」**統計数理**, 43巻1号, 27-80, 1995.
321. 林知己夫・鈴木達三他(データライブラリーに関する研究会)：**データライブラリーのあり方に関する研究**(地域社会研究所 研究報告), 1995年.
322. Hayashi, C. : *Changing and Enduring Aspects of Japanese National Character*, Institute of Social Research, INSS (Institute of Nuclear Safety System), 1995.
323. Hayashi, F. and Suzuki, T. : Data Analytic Representation of Characteristics of Various Breakdowns in Cross-Cultural Survey, in *Data Science and Its Application* (eds. Hayashi, C. et al.), Harcourt Brace Japan, 235-246, 1995.
324. 駒澤勉・土屋隆裕：「可視化による探索的数量化III類の分析法—『第9次日本人の国民性調査』データの順序構造に関する分析」**統計数理**, 43巻1号, 161-176, 1995年.
325. 前田忠彦：「日本人の満足感の構造とその規定因に関する因果モデル—共分散構造分析の『日本人の国民性調査』への適用—」**統計数理**, 43巻1号, 141-160, 1995年.
326. 中村隆：「交互作用効果モデルと過大分散モデルを用いたコウホート分析—『日本人の国民性調査』データへの適用—」**統計数理**, 43巻1号, 99-119, 1995年.
327. 西平重喜：「社会的価値観は変わるか」**統計数理**, 43巻1号, 81-97, 1995年.
328. 坂元慶行：「『日本人の国民性調査』—40年間の意識動向—」**統計数理**, 43巻1号, 5-26, 1995年.
329. 坂元慶行：「意識調査の調査方式と調査結果 その(1)」**ESTRELA**(統計情報研究開発センター), 10月号, 43-51, 1995年.
330. 坂元慶行：「意識調査の調査方式と調査結果 その(2)」**ESTRELA**(統計情報研究開発センター), 11月号, 34-42, 1995年.
331. Sakamoto, Y. : A Study of Japanese National Character: Ninth Nationwide Survey, *Research Memorandum*, No. 572, 1995.

332. 鈴木達三：「調査法に関する一考察—質問の順や文脈，前後関係による影響(context effects)—」 **ESTRELA**(統計情報研究開発センター), No. 16, 8-15, 1995年.
333. 鈴木達三・吉野諒三・林知己夫・村上征勝・林文他：「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—総合報告書—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 76, 1995年.
334. 鈴木達三・吉野諒三・林知己夫・村上征勝・林文他：「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—国民性の国際比較の為のマニュアル—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 77, 1995年.
335. 鈴木達三・吉野諒三・林知己夫・村上征勝・林文他：「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—イタリア調査の回答コードブック—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 78, 1995年.
336. 鈴木達三・吉野諒三・林知己夫・村上征勝・林文他：「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—イタリア調査の自由回答データ—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 79, 1995年.
337. 鈴木達三・吉野諒三・林知己夫・村上征勝・林文他：「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—オランダ調査の回答コードブック—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 80, 1995年.
338. 鈴木達三・吉野諒三・林知己夫・村上征勝・林文他：「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—オランダ調査の自由回答データ—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 81, 1995年.
339. 鈴木達三・吉野諒三・林知己夫・村上征勝・林文他：「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—イタリア・オランダ調査の共通ファイルコードブック—」 **統計数理研究所 研究レポート**, No. 82, 1995年.
340. 土屋隆裕：「項目分類のための数量化法」 **行動計量学**, 22巻2号, 95-109, 1995年.
341. 土屋隆裕：「複数データセット間の違いを探る等質性分析—『日本人の国民性調査』データへの適用—」 **統計数理**, 43巻1号, 121-140, 1995年.
342. 吉野諒三・林知己夫・鈴木達三：「国民性の国際比較調査の為の質問文の作成—翻訳のプロセスを中心として—」 **行動計量学**, 22巻1号, 62-79, 1995年.
343. Yoshino, R. and Khor, D. : Complementary Scaling for Cross-National Analyses of National Character, *Behaviormetrika*, Vol. 22, No. 2, 155-184, 1995.

1996年

344. 林知己夫：日本人の心とガン告知 (日本癌病態治療学会報告書), 1996年.
345. 林知己夫：日本らしさの構造—こころと文化をはかる, 東洋経済新報社, 1996年.
346. 林知己夫：「日本特殊論は成り立つか」 **コンセンサス**, 2月号, 6-7, 1996年.

347. 林知己夫：「数字からみた日本人の心」**住友マネジメントレビュー**, 2月号, 30-31, 1996年.
348. 林知己夫：「統計で探る日本人のこころ」**郵政**, 3月号, 6-9, 1996年.
349. 林知己夫：「日本人の心とガン告知」**産経新聞** (正論) 1996年2月29日.
350. 林知己夫：「日本人の国民性 変わるものと変わらないもの、特殊なものど普通なもの」**交詢雑誌**, No. 387, 12-20, 1996年.
351. 林知己夫：「トップのリーダーシップについて思うこと」**運輸と経済**, 9月号, 2-3, 1996年.
352. 林知己夫・加留部清・北田淳子・北條眞：「日本における『長』のイメージ」**INSS Journal**, No. 3, 90-132, 1996年.
353. Hayashi, C. : Cultural Link Analysis (CLA) for Qualitative Comparative Social Research and Its Applications, in *Quantitative Social Research in Germany and Japan* (eds. Hayashi, C. and Scheuch, E.), Leske+Budrich, 202-229, 1996.
354. Sasaki, M. and Suzuki, T. : Changes in Religious Commitment in the United States, Holland, and Japan, in *Comparing Nations and Cultures* (eds. Inkeles, A. and Sasaki, M.), Prentice-Hall, 586-601, 1996.
355. 鈴木達三：「国際比較調査における標本計画と調査実施に関する一考察」**行動計量学**, 23巻1号, 46-62, 1996年.
356. 鈴木達三：「サンプリング, 国際比較, 分析・報告(の一部)」**世論調査事典** (NHK放送文化研究所編), 大空社, 1996年.
357. Suzuki, T. : Macro Analysis by Means of Cohort Analysis, in *Quantitative Social Research in Germany and Japan* (eds. Hayashi, C. and Scheuch, E.), Leske+Budrich, 53-70, 1996.
358. Suzuki, T. and Sasaki, M. : The Use and Role of the Data Library for Improving Survey Methods, *Paper presented at the WAPOR Regional Conference in Tokyo*, 1996.
359. Yoshino, R. : Degree of Conformity for the Cross-National Comparative Study of National Character, in *Quantitative Social Research in Germany and Japan* (eds. Hayashi, C. and Scheuch, E.), Leske+Budrich, 182-206, 1996.

1997年

360. 林知己夫：「長(リーダー)の命運と社会の命運」**市場調査**(輿論科学協会), 229号, 2-19, 1997年.
361. 林知己夫：**日本人の意識の特色と変化・不変化**, 第87回尾張講習会(名古屋東別院), 1997年.

362. 林知己夫：「社会調査と数量化」**社会情報**, Vol. 7, No. 1, 7-35, 1997年.
363. 林知己夫・鈴木達三：**社会調査と数量化(増補版)―国際比較におけるデータの科学一**, 岩波書店, 1997年.
364. Hayashi, C. and Kuroda, Y.: *Japanese Culture in Comparative Perspective*, Praeger, 1997.
365. 林文：「国民意識の動向」**過渡期としての1950年代**(中村隆英・宮崎正康編), 東京大学出版会, 215-238, 1997年.

1998年

366. Study on Japanese Behavior and Attitude Patterns in JAs, **Hokubei Mainichi** 1998.10.14.
367. Studies of Nikkei Character Underway, **Nikkei West** 1998.10.15.
368. 統計数理研究所国民性国際調査委員会：**国民性七か国比較**, 出光書店, 1998年.
369. 林知己夫：「社会調査と数量化(文献紹介)」**社会学文献事典**, 弘文堂, 1998年.
370. 林知己夫：「『日本的なるもの』の行方を探る(対談)」**炸**, No. 50(12月号), 6-7, 1998年.
371. Hayashi, C.: What is Data Science? -- Fundamental Concepts and a Heuristic Example, in *Data Science, Classification and Related Methods* (eds. Hayashi, C. et al.), Springer-Verlag, 40-51, 1998.
372. Hayashi, C.: The Quantitative Study of National Character, Interchronological and International Perspectives, *Int. J. of Comparative Sociology*, Vol. 39, No. 1, 91-114, 1998. (後に Sasaki, M. (ed.), *Values and Attitude Across Nations and Time*, Brill, pp.91-114 に再録)
373. 前田忠彦：「階層帰属意識と生活満足感」**1995年SSM調査シリーズ6「現代日本の階層意識」**(間々田孝夫編), 1995年SSM調査研究会, 89-112, 1998年.
374. 前田忠彦：「2種類の満足感の相互関係」**共分散構造分析[事例編]―構造方程式モデリング―**(豊田秀樹編著), 北大路書房, 1998年.
375. 中村隆：「調査データの標本誤差評価とブートストラップ法―層別確率比例復元2段無作為抽出法の場合―」**ESTRELA**(統計情報研究開発センター), 3月号, 11-19, 1998年.
376. 中村隆：「1995年SSM調査の標本設計と標本精度―標本抽出法を考慮した分析に向けて―」**1995年SSM調査シリーズ1「社会階層・移動の基礎分析と国際比較」**(石田浩編), 1995年SSM調査研究会, 77-100, 1998年.
377. 鈴木達三：「イメージの中の日本」**国際社会と日本語**, 国立国語研究所, 23-24, 1998年.

378. 鈴木達三・高橋宏一：標本調査法，朝倉書店，1998年。

1999年

379. 「日本人，全体に『自信喪失』—文部省が国民性調査」朝日新聞 1999年4月28日。
380. 「日本の経済力『よい』5年で47ポイント減の32%—国民性調査」産経新聞 1999年4月28日。
381. 「不況の影 5年の落差 自信喪失“症候群”—国民性調査」東京新聞 1999年4月28日。
382. 「現状『不満』将来『悲観』—日本人の国民性」日本経済新聞 1999年4月28日。
383. 「『社会に満足』半減—日本人の国民性調査」毎日新聞 1999年4月28日。
384. 「日本広がる悲観論—文部省国民性調査」読売新聞 1999年4月28日。
385. Survey: Nothing to cheer about, *Asahi Evening News* 1999.4.28.
386. 林知己夫：「公開講演会要旨：国民性の国際比較—計量的文明論構築へ向けて—」統計数理研究所ニュース，No. 66, 3, 1999年。
387. 林知己夫：「調査とデータの科学」国際社会と日本語，国立国語研究所，125-138，1999年。
388. 林文：「意識調査からみた日本人の自然観—自然観の意識構造と若者の意識—」東洋英和女学院大学人文・社会科学論集，第15号，31-51，1999年。
389. 中村隆：「年齢・時代・世代の違いを探る—コウホート分析の方法—」こうしょう(高翔)，No. 32, 15-18, 1999年。
390. 中村隆：「公開講演会要旨：国民性と変化—年齢・時代・世代、どれが意識の違いを生むか—」統計数理研究所ニュース，No. 66, 2, 1999年。
391. 中村隆・土屋隆裕・前田忠彦・坂元慶行：「国民性の研究 第10次全国調査—1998年全国調査—」統計数理研究所 研究レポート，No. 83, 1999年。
392. 坂元慶行：「日本人の国民性調査—20世紀後半期の意識動向」文部時報，No. 1474, 52-55, 1999年。
393. 坂元慶行：「私見『日本人の国民性調査』」よろん，84号，5-14, 1999年。
394. 坂元慶行：「公開講演会要旨：統計的日本人研究—『日本人の国民性調査』の半世紀」統計数理研究所ニュース，No. 66, 2, 1999年。
395. Sakamoto, Y. : Statistical Research of the Japanese National Character: General Trends in Attitudes over the Latter Half of the Twentieth Century, *WAPOR 52nd Conference Papers*, No. 12, 1999.

2000年

396. 「『生まれ変わっても、また女』の時代—文部省研究所の国民性調査」朝日新聞 2000年8月25日。

397. 林知己夫：「時系列からみた日本人の国民性」**市場調査**, No. 242, 4-23, 2000年.
398. 林知己夫：「これからの国民性研究－人間研究の立場と地域研究・国際比較研究から計量的文明論の構築へ－」**統計数理**, 48巻1号, 33-66, 2000年.
399. 林知己夫：「公開講演会要旨：国民性の国際比較－計量的文明論の構築へむけて－」**統計数理**, 48巻1号, 259, 2000年.
400. 黒田安昌：「変化してゆく日本文化：その要素と原因」**統計数理**, 48巻1号, 77-92, 2000年.
401. 前田忠彦・中村隆：「近年5回の国民性調査の標本設計と標本精度について」**統計数理**, 48巻1号, 147-178, 2000年.
402. 中村隆：「質問項目のコウホート分析－多項ロジット・コウホートモデル－」**統計数理**, 48巻1号, 93-119, 2000年.
403. 中村隆：「公開講演会要旨：国民性と変化－年齢・時代・世代、どれが意識の違いを生むか－」**統計数理**, 48巻1号, 255-258, 2000年.
404. 西平重喜：「国民性調査の周辺」**統計数理**, 48巻1号, 67-76, 2000年.
405. 坂元慶行：「日本人の考えはどう変わったか－『日本人の国民性調査』の半世紀－」**統計数理**, 48巻1号, 3-32, 2000年.
406. 坂元慶行：「公開講演会要旨：統計的日本人研究－『日本人の国民性調査』の半世紀－」**統計数理**, 48巻1号, 253, 2000年.
407. 上屋隆裕：「UNISCALによる『日本人の国民性調査』データの分析」**統計数理**, 48巻1号, 121-145, 2000年.

II 質問文と集計表

集計表の見方

1. 【収録調査項目】 ここには、1998年の第10次全国調査で使用した質問の全文と、その他の項目を含む全調査項目の集計表を収録した。収録順は原則として、国民性調査委員会で決めた調査項目の §、# 番号順になっている(ただし、同じ問番号の下にいくつかの質問が含まれている連問の場合は、第10次の実際の質問順とした)。また、第9次までの質問項目で、今回の質問と特に関連のあるものについては、参考までにその数値をのせた。
2. 【調査の略称】 集計表には比較のため第1次～第10次全国調査の結果を示した。

略 称	説 明
I (1953)	1953年(昭和28年)実施の第1次全国調査の結果
II (1958)	1958年(昭和33年)実施の第2次全国調査の結果
III (1963)	1963年(昭和38年)実施の第3次全国調査の結果
IV (1968)	1968年(昭和43年)実施の第4次全国調査の結果
V (1973)	1973年(昭和48年)実施の第5次全国調査の結果
VI (1978)	1978年(昭和53年)実施の第6次全国調査の結果
VII (1983)	1983年(昭和58年)実施の第7次全国調査の結果
VIII (1988)	1988年(昭和63年)実施の第8次全国調査の結果
IX (1993)	1993年(平成5年)実施の第9次全国調査の結果
X (1998)	1998年(平成10年)今回実施の第10次全国調査の結果

なお、第5次～第10次調査のKという記号は、前述のように、過去との比較に重きをおいた調査票の集計結果およびその質問番号を表し、Mは将来のために改良または新設した質問を主とした調査票の集計結果と質問番号を示す。

また第2次調査も調査票を2種類作り、一方は問1から、他方は問101から始まっている。ただし、同一質問の集計結果は両者を合わせたものしか示していない。

各集計表の問欄の×印は、その回の調査では質問していないことを示す。

3. 【D.K.】 集計表にあげられた選択肢のうちD.K.(Don't Know)は「わからない」の意味であるが、第8次全国調査までは、調査員につきのように指示した。

「サンプルが質問の内容を理解しないときは、質問をくりかえし、それでもわからないようならD.K.(Don't Know)とすること。質問の内容は、だれでもわかるはずの言葉を使うように心がけている。中には二、三その範囲を越えることもあるが、統計調査であるから、この言葉で質問したとき、D.K.の人がどのくらいいたかは大切なデータとなるので、いいかえたりしないこと。」

前回の第9次調査からは、前述のように、面接調査を専門調査機関に委託した。調査担当者の説明を聞く限り、調査機関とわれわれとの間に、選択肢の“その他”と“D.K.”について解釈のズレはないが、第8次から第9次調査の間で、質問によってはこれらの選択肢の結果数値に断層が見られる。すなわち、第9次、第10次の結果は、それまでに比べて、“その他”が少なく、“D.K.”が多めである。したがって、結果的には、“その他”と“D.K.”の調査現場での解釈に相違があったと考えざるを得ない。しかし、両者を一括すると数値に大きな差はない。

4. 【質問文の体裁】 質問文は、原則として第8次までの調査票に印刷した通りの体裁で示した。第9次調査からは調査票が専門調査機関で通常用いている体裁が変わっているが、調査は個別訪問面接聴取式で行われ、調査員が質問文を読み上げる方式なので、調査対象者の目に直接質問文が触れることはない。

回答記入欄も第8次までの調査票の体裁で示した。リスト(選択肢を記入して回答者に示す)を使用した質問は質問文の前に[リスト]とある(第9次調査からは調査票には[回答票]と記されている)。なお、回答者用のリストには選択肢のみを印刷し、“その他”、“D.K.”は入っていない。

5. 【集計表の数値】 (a) 集計表の数値は%を示すもので、第1次から第10次までのすべての結果について、小数点以下を四捨五入してある。

具体的には、当該選択肢の回答者数を m 、サンプル数を n とするとき、 $100m/n$ の商 p と余り q を求め、 $2q < n$ ならば p そのままを、 $2q \geq n$ ならば $p+1$ を、四捨五入した%とした。

集計表中の%で、“0”は四捨五入して0%であることを、“-”はその回答者が全くいなかったことを示す。また、“*”は調査回によって当該選択肢が設けられていなかったことを示す。

(b) 集計表の計欄は、個々の選択肢の四捨五入した後の%を合計した数値で、必ずしも100(%)とはなっていない。また、()内は、集計に用いたサンプル数である。

(c) 本リポートに収録した結果数値(%)は、過去の研究リポート等に収録した%とわずかに異なる場合がある。それは、第1次から第3次調査のデータについて見直しを行ったこと、また過去の数値では、丸め方法の違いや、合計が100%になるようにいずれかの選択肢の%を増減して調整することがあったからである。

§1 基本項目

#1.1 性

#1.2 年齡

	問	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
		男	女	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
				§	§	§	§	§	§	§	§	§	§	§	以上
		24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	64	69	上	
I (1953)	1	47	53	19	15	11	11	10	8	9	6	5	3	3	100 (2,254)
II (1958)	¹ 101	46	54	15	14	14	10	11	9	7	7	6	4	4	101 (2,369)
III (1963)	性 年齡	46	54	12	13	14	12	10	9	9	6	6	4	4	99 (2,698)
IV (1968)	性 年齡	47	53	12	13	13	13	11	8	7	7	6	4	4	98 (3,033)
V (1973)	K+M	45	55	14	12	12	12	12	10	8	7	5	4	5	101 (4,594)
	K 性 年齡	46	54	14	12	12	11	12	10	7	7	5	4	5	99 (3,055)
	M 性 年齡	43	57	13	11	12	13	12	10	9	7	5	4	5	101 (1,539)
VI (1978)	K+M	44	56	10	12	12	11	11	11	8	7	6	5	7	100 (3,945)
	K 性 年齡	44	56	9	12	12	13	11	11	9	7	5	5	7	101 (2,032)
	M 性 年齡	43	57	10	12	13	10	11	11	8	7	7	4	6	99 (1,913)
VII (1983)	K+M	44	56	9	9	12	11	11	11	10	8	6	5	7	99 (4,429)
	K 性 年齡	44	56	9	9	12	11	11	12	10	8	6	5	7	100 (2,256)
	M 性 年齡	45	55	9	9	13	11	10	11	10	9	6	5	7	100 (2,173)
VIII (1988)	K+M	45	55	10	8	9	13	10	10	9	9	8	6	8	100 (3,682)
	K 性 年齡	45	55	9	8	10	13	10	10	8	9	8	6	9	100 (1,858)
	M 性 年齡	44	56	11	8	8	13	11	10	10	8	8	6	8	101 (1,824)
IX (1993)	K+M	46	54	8	7	8	9	13	11	10	10	10	7	7	100 (3,738)
	K 性 年齡	46	54	8	8	8	9	13	11	10	9	10	6	7	99 (1,833)
	M 性 年齡	47	53	8	7	9	9	12	11	10	10	10	7	7	100 (1,905)
X (1998)	K+M	45	55	7	7	8	8	8	11	10	10	11	8	12	100 (2,680)
	K 性 年齡	46	54	8	5	8	7	8	11	10	10	11	8	13	99 (1,339)
	M 性 年齡	45	55	6	8	7	9	8	12	11	10	11	8	11	101 (1,341)

#1.2b 婚姻・子

[リスト] あなたは結婚していらっしゃいますか？ つぎのどれに当たりますか？

1	未婚	
2	死別	
3	離別	
4	既婚	
5	その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 未婚	2 死別	3 離別	4 既婚	5 その他	6 D.K.	計
I (1953)	56	17	8	1	70	*	4	100 (2,254)
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	K+M	14	7	3	77	-	0	101 (2,680)
	K40	14	8	2	76	-	0	100 (1,339)
	M36	13	7	3	77	-	0	100 (1,341)

#1.3 学歴

あなたが、最後にいらっしゃった学校はなんですか？

1	小学校 [学歴なしをふくむ]
2	新制中学 [旧制高等小学]
3	新制高校 [工(商)業高校] 旧制中学校 [中学校、工(商)業学校、(高等)女学校]
4	大学、短大、高専 [旧制高等学校、工(商)業専門、高等工(商)業]
5	その他 [1~4のどれに当るか分からないときは最終学校名記入]

	問	1 小学	2 中学	3 高校	4 大学	5 その他	計
I (1953)	55	33	35	24	6	2	100 (2,254)
II (1958)	32a 132a	31	37	24	7	2	101 (2,369)
III (1963)	学歴	21	41	29	8	1	100 (2,698)
IV (1968)	学歴	16	40	34	10	0	100 (3,033)
V (1973)	K+M	15	30	41	12	2	100 (4,594)
	K学歴	15	30	42	11	2	100 (3,055)
	M29	14	31	40	13	2	100 (1,539)
VI (1978)	K+M	10	32	40	16	2	100 (3,945)
	K学歴	10	32	41	15	2	100 (2,032)
	M学歴	11	32	39	17	1	100 (1,913)
VII (1983)	K+M	8	29	43	19	1	100 (4,429)
	K学歴	8	29	43	19	1	100 (2,256)
	M学歴	9	29	43	18	1	100 (2,173)
VIII (1988)	K+M	8	24	45	22	1	100 (3,682)
	K学歴	8	23	44	23	1	99 (1,858)
	M学歴	7	25	46	21	1	100 (1,824)
IX (1993)	K+M	5	22	47	25	1	100 (3,738)
	K40	4	23	46	26	0	99 (1,833)
	M34	5	22	49	24	1	101 (1,905)
X (1998)	K+M	5	21	46	26	1	99 (2,680)
	K38	6	22	45	26	1	100 (1,339)
	M34	5	20	48	27	1	101 (1,341)

#1.4c 職業（新形式）

[リスト] では、あなたのお仕事の種類は、つぎのどれに当たりますか？

1	農林水産業
2	自営の商工業
3	専門、自由業（教員、医者など）
4	管理職（課長以上）
5	事務系の勤め人（ホワイトカラー）
6	作業系の勤め人（ブルーカラー）
7	主婦（専業主婦）
8	学生、無職
9	D.K.

	問	1 農林水産業	2 自営の商工業	3 専門・自由業	4 管理職	5 事務系の勤め人	6 作業系の勤め人	7 主婦	8 学生・無職	9 D.K.	計
I (1953)	×										
II (1958)	×										
III (1963)	×										
IV (1968)	×										
注) V (1973)	K+M	13	10	5	3	16	16	26	10	1	100 (4,594)
	K職業	13	10	5	3	16	16	26	10	1	100 (3,055)
	M30	13	11	5	2	15	16	27	10	1	100 (1,539)
VI (1978)	×										
VII (1983)	×										
VIII (1988)	K+M	7	12	7	5	16	20	18	13	1	99 (3,682)
	K職業b	7	13	8	5	15	21	18	13	1	101 (1,858)
	M職業b	8	12	7	5	17	20	18	13	1	101 (1,824)
IX (1993)	K+M	7	12	5	6	17	24	19	10	1	101 (3,738)
	K41b	7	13	5	6	16	25	19	9	1	101 (1,833)
	M35b	7	11	5	6	17	24	19	11	0	100 (1,905)
X (1998)	K+M	6	12	5	5	16	23	18	15	0	100 (2,680)
	K39	5	11	5	5	16	23	18	16	0	99 (1,339)
	M35	7	13	4	5	16	23	18	14	0	100 (1,341)

注) 第5次(1973)調査のコード(#1.4*)を順序を変えて組み込んだ。

#1.5 市郡別

	問	1	2	3	4	5	6	7	計
		区 6 大都市	市					町 村	
			50 万 以上	20 \ 50 万	10 \ 20 万	5 \ 10 万	5 万 未 滿		
I (1953)	---	14	7		6	6	7	61	101 (2,254)
II (1958)	---	15	10		9	9	13	44	100 (2,369)
III (1963)	---	16	12		11	11	11	38	99 (2,698)
IV (1968)	---	17	17		10	12	11	32	99 (3,033)
V (1973)	K+M	18	23		9	12	10	28	100 (4,594)
	K	18	23		10	12	10	28	101 (3,055)
	M	18	23		9	12	10	28	100 (1,539)
VI (1978)	K+M	15	26		10	15	8	26	100 (3,945)
	K	15	27		10	15	8	25	100 (2,032)
	M	16	26		10	15	8	26	101 (1,913)
VII (1983)	K+M	14	8	20	11	14	7	25	99 (4,429)
	K	14	8	20	12	14	7	25	100 (2,256)
	M	14	8	20	11	14	7	25	99 (2,173)
VIII (1988)	K+M	12	9	20	11	14	7	26	99 (3,682)
	K	12	9	20	11	15	7	26	100 (1,858)
	M	13	9	21	11	13	7	26	100 (1,824)
IX (1993)	K+M	12	10	21	11	14	6	25	99 (3,738)
	K	12	10	21	11	15	6	25	100 (1,833)
	M	13	10	22	11	14	5	25	100 (1,905)
X (1998)	K+M	12	10	22	13	11	8	24	100 (2,680)
	K	12	11	21	13	11	8	24	100 (1,339)
	M	12	10	22	13	12	7	25	101 (1,341)

#1.6 地方別

北海道	: 北海道
東北	: 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	: 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部(東)	: 新潟、山梨、長野、静岡
中部(西)	: 富山、石川、福井、岐阜、愛知
近畿	: 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	: 香川、愛媛、徳島、高知
九州	: 福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、(V以降)沖縄

	問	1 北海道	2 東北	3 関東	4 中部 (東)	5 中部 (西)	6 近畿	7 中国	8 四国	9 九州	計
I (1953) ^{注)}	---	5	14	17	12	9	11	16		16	100 (1,370)
II (1958)	---	5	10	24	8	9	14	8	5	15	98 (2,369)
III (1963)	---	5	10	23	9	10	17	8	4	13	99 (2,698)
IV (1968)	---	5	10	25	9	9	16	8	4	13	99 (3,033)
V (1973)	K+M	4	9	28	8	10	18	7	3	13	100 (4,594)
	K	4	9	28	8	10	17	7	3	13	99 (3,055)
	M	5	9	28	7	11	18	7	3	12	100 (1,539)
VI (1978)	K+M	4	9	28	8	11	18	7	3	12	100 (3,945)
	K	4	9	28	8	11	18	7	3	12	100 (2,032)
	M	4	9	28	8	11	18	6	3	13	100 (1,913)
VII (1983)	K+M	4	9	29	8	10	17	7	4	12	100 (4,429)
	K	4	9	29	8	10	17	7	4	11	99 (2,256)
	M	5	8	28	8	10	17	7	4	12	99 (2,173)
VIII (1988)	K+M	5	8	26	10	10	17	7	4	12	99 (3,682)
	K	5	8	27	10	10	17	7	4	12	100 (1,858)
	M	5	9	26	10	9	17	8	4	12	100 (1,824)
IX (1993)	K+M	5	8	29	9	10	15	7	4	13	100 (3,738)
	K	5	8	28	9	10	15	8	4	13	100 (1,833)
	M	5	8	29	9	10	16	7	4	13	101 (1,905)
X (1998)	K+M	5	8	27	8	10	18	8	4	13	101 (2,680)
	K	5	8	27	8	9	17	8	4	13	99 (1,339)
	M	5	8	27	8	10	18	8	4	12	100 (1,341)

注) 第1次(1953)調査は郡部のみの集計

#1.8 帰属階層

[リスト] かりに現在の日本の社会全体を、この表にかいてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅は、このどれに入ると思いますか？

1	上	
2	中の上	
3	中の中	
4	中の下	
5	下	
6	その他 [記入]	7 D. K.

	問	1 上	2 中の上	3 中の中	4 中の下	5 下	6 その他	7 D.K.	計
I (1953)	×								
II (1958)	×								
III (1963)	×								
IV (1968)	×								
V (1973)	×								
VI (1978)	×								
VII (1983)	K+M	2	12	53	26	5	0	2	100 (4,429)
	K33	2	13	53	24	5	0	2	99 (2,256)
	M30	1	11	52	28	5	0	3	100 (2,173)
VIII (1988)	K+M	1	12	52	27	5	0	2	99 (3,682)
	K32	2	12	52	27	5	0	2	100 (1,858)
	M23	1	13	51	27	5	0	3	100 (1,824)
IX (1993)	K+M	1	12	58	23	3	-	2	99 (3,738)
	K37	1	11	57	23	4	-	3	99 (1,833)
	M22	2	12	58	23	2	-	2	99 (1,905)
X (1998)	M24	1	10	57	26	4	-	2	100 (1,341)

§2 個人的態度

#2.1 しきたりに従うか

あなたは、自分が正しいと思えば世のしきたりに反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間のしきたりに、従った方がまちがいないと思いますか？

1 おし通せ	
2 従え	
3 場合による	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 おし 通せ	2 従え	3 場 合 に よ る	4 そ の 他	5 D. K.	計
I (1953)	4	41	35	19	1	4	100 (2,254)
II (1958)	⁷ 107	41	35	19	1	4	100 (2,369)
III (1963)	7	40	32	25	1	2	100 (2,698)
IV (1968)	8	42	34	20	2	2	100 (3,033)
V (1973)	K11	36	32	29	0	3	100 (3,055)
VI (1978)	K 6	30	42	24	2	2	100 (2,032)
	K+M	29	39	29	1	2	100 (4,429)
VII (1983)	K 6	30	37	30	1	2	100 (2,256)
	M 5	29	40	28	1	2	100 (2,173)
VIII (1988)	K 7	27	36	35	1	2	101 (1,858)
IX (1993)	K 6	26	30	42	0	2	100 (1,833)
X (1998)	K 7	27	32	39	0	2	100 (1,339)

#2.2b スジかまるるか

[リスト] 物事の「スジを通すこと」に重点をおく人と、物事を「まるくおさめること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか？

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 「スジを通すこと」に重点をおく人 | |
| 2 「まるくおさめること」に重点をおく人 | |
| 3 その他 [記入] | 4 D. K. |

	問	1 スジを通す	2 まるく おさめる	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K13	44	50	4	2	100 (2,032)
VII (1983)	K27	45	51	2	2	100 (2,256)
VIII (1988)	K25	42	54	2	2	100 (1,858)
IX (1993)	K28	38	56	2	4	100 (1,833)
X (1998)	K29	43	54	1	2	100 (1,339)

#2.3d 社会に満足か

[リスト] あなたは、「社会」に対して満足していますか、それとも、不満がありますか？

1	満足	
2	やや満足	
3	やや不満	
4	不満	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 満足	2 やや 満足	3 やや不 満	4 不 満	5 その 他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	M 9b	6	20	37	30	1	6	100 (1,539)
VI (1978)	M 5b	9	28	38	19	1	5	100 (1,913)
VII (1983)	K+M	9	31	39	18	1	2	100 (4,429)
	K32b	9	29	39	20	1	2	100 (2,256)
	M19	9	34	39	16	1	2	101 (2,173)
VIII (1988)	K+M	6	29	43	18	1	3	100 (3,682)
	K31b	7	28	44	19	1	2	101 (1,858)
	M20b	6	30	42	18	1	3	100 (1,824)
IX (1993)	M20a	6	44	38	10	0	2	100 (1,905)
X (1998)	M21a	4	24	50	21	0	2	101 (1,341)

#2.3i 仕事や職場に満足か

[リスト] では、「仕事や職場」についてはどうですか？

1	満足	
2	やや満足	
3	やや不満	
4	不満	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 その他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	M20b	16	42	21	3	1	16	99 (1,905)
X (1998)	M21b	13	38	27	6	0	16	100 (1,341)

#2.3c 家庭に満足か

[リスト] では、「家庭」についてはどうですか？

1	満足	
2	やや満足	
3	やや不満	
4	不満	
5	その他 [記入]	
6	D. K.	

	問	1 満足	2 やや 満足	3 やや 不満	4 不 満	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	M 9a	47	33	13	5	1	1	100 (1,539)
VI (1978)	M 5a	54	32	8	4	0	1	99 (1,913)
VII (1983)	K32a	53	33	10	3	0	1	100 (2,256)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	M20c	51	40	7	1	0	0	99 (1,905)
X (1998)	M21c	44	44	10	1	0	1	100 (1,341)

#2.3j 余暇に満足か

[リスト] では、「余暇（レジャー）の過ごし方」についてはどうですか？

1	満足	
2	やや満足	
3	やや不満	
4	不満	
5	その他 [記入]	6 D.K.

	問	1 満足	2 やや 満足	3 やや 不満	4 不 満	5 そ の 他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	M20d	20	48	25	6	0	2	101 (1,905)
X (1998)	M21d	22	48	22	5	0	2	99 (1,341)

#2.3k 健康状態に満足か

[リスト] では、「自分の健康状態」についてはどうですか？

1	満足	
2	やや満足	
3	やや不満	
4	不満	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 その他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	M20e	34	41	21	4	0	0	100 (1,905)
X (1998)	M21e	27	41	24	7	-	0	99 (1,341)

#2.31 生活全体に満足か

[リスト] では、「自分の生活全体」についてはどうですか？

1	満足	
2	やや満足	
3	やや不満	
4	不満	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 その他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	M20f	23	58	17	3	0	0	101 (1,905)
X (1998)	M21f	21	55	20	3	0	0	99 (1,341)

#2.4 くらし方

[リスト] 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか？

1	一生けんめい働き、金持ちになること
2	まじめに勉強して、名をあげること
3	金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をする
4	その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
5	世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも清く正しくくらすこと
6	自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
7	その他 [記入]
8	D. K.

	問	1 金持ち	2 名をあげる	3 趣味	4 のんきに	5 清く正しく	6 社会につくす	7 その他	8 D.K.	計
I (1953)	39	15	6	21	11	29	10	4	4	100 (2,254)
II (1958)	22	17	3	26	19	22	6	3	3	99 (920)
III (1963)	26	17	4	30	19	18	6	3	3	100 (2,698)
IV (1968)	31	17	3	32	20	17	6	2	3	100 (3,033)
V (1973)	K34	14	3	39	23	11	4	2	3	99 (3,055)
VI (1978)	K19	14	2	39	22	11	7	2	4	101 (2,032)
VII (1983)	K+M	18	2	38	23	9	5	2	4	101 (4,429)
	K20	20	2	38	20	10	6	2	4	102 (2,256)
	M20	15	2	38	26	9	4	2	3	99 (2,173)
VIII (1988)	K+M	15	3	41	23	9	4	2	3	100 (3,682)
	K18	17	3	38	23	9	4	2	3	99 (1,858)
	M 9	13	2	44	23	9	4	2	3	100 (1,824)
IX (1993)	K+M	17	3	40	26	6	4	2	3	101 (3,738)
	K22	17	2	38	25	6	5	3	3	99 (1,833)
	M10	16	3	41	26	6	4	1	3	100 (1,905)
X (1998)	K22	15	3	41	23	8	4	2	4	100 (1,339)

#2.5 自然と人間との関係

[リスト] 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、ひとつだけえらんで下さい？

1	人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない	
2	人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない	
3	人間が幸福になるためには、自然を征服してゆかなければならない	
4	その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 自然に 従え	2 自然を 利用	3 自然を 征服	4 その 他	5 D.K.	計
I (1953)	34	26	41	23	1	8	99 (2,254)
II (1958)	15	20	37	28	1	13	99 (920)
III (1963)	15	19	40	30	1	10	100 (2,698)
IV (1968)	17	19	40	34	1	7	101 (3,033)
V (1973)	K+M	31	45	17	1	7	101 (4,594)
	K23	30	45	16	1	7	99 (3,055)
	M20	32	44	18	1	6	101 (1,539)
VI (1978)	K16	33	44	16	1	6	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	36	47	11	1	4	99 (4,429)
	K17	41	41	12	1	4	99 (2,256)
	M17	31	53	11	1	4	100 (2,173)
VIII (1988)	K15	42	44	9	1	4	100 (1,858)
IX (1993)	K19	48	38	7	0	7	100 (1,833)
X (1998)	K19	49	39	6	1	5	100 (1,339)

#2.7 一番大切なもの

あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。一つだけあげてください？(なんでもかまいません)

[品物、愛情、子供などなんでもよいが、こちらからは絶対に例をあげるな]

[自由回答]

	問	1 生命・健康・自分	2 子供	3 家族	4 家・先祖	5 金・財産	6 愛情・精神	7 仕事・信用	8 国家・社会	9 その他	10 D.K.特になし	計
I (1953) ^{注1)}	47	12	12	19	*	16	11	*	*	25	5	100 (2,254)
II (1958)	$\frac{29}{129}$	22	11	12	3	15	16	7	6	1	6	99 (2,369)
III (1963)	29	28	10	13	3	11	19	5	3	1	7	100 (2,698)
IV (1968)	34	29	9	13	3	9	22	5	4	1	6	101 (3,033)
V (1973)	K41	21	8	18	2	9	22	5	5	1	10	101 (3,055)
VI (1978)	K32	23	7	23	1	6	27	6	4	1	3	101 (2,032)
VII (1983)	K13	22	9	31	2	8	19	5	1	1	3	101 (2,256)
VIII (1988)	K11	22	10	33	2	6	18	3	1	2	4	101 (1,858)
IX (1993)	K10	17	10	42	1	4	16	3	1	2	4	100 (1,833)
X (1998)	K10a	22	9	40	1	3	17	3	2	1	3	101 (1,339)

注1) 第1次(1953)調査の質問文は、「あなたの家で一番大切と思う……」。*にあたる回答は「その他」に入れてある。

注) 第10次(1998)調査では、本項目をアフターコーディングする際の分類基準の見直しを行ない、第2次(1958)～第9次(1993)調査についても再集計を行なった。このため、第2次～第9次の数値は、従来発表されているものと若干異なる。

#2.7a2 二番大切なもの

では、あなたにとって二番目に大切と思うものはなんですか？

[なんでもよいが、こちらからは絶対に例をあげるな]

[自由回答]

	問	1 生命・健康・自分	2 子供	3 家族	4 家・先祖	5 金・財産	6 愛情・精神	7 仕事・信用	8 国家・社会	9 その他	10 D.K.特になし	計
I (1953)	×											
II (1958)	×											
III (1963)	×											
IV (1968)	×											
V (1973)	×											
VI (1978)	×											
VII (1983)	×											
VIII (1988)	×											
IX (1993)	×											
X (1998)	K10b	16	5	22	1	17	18	8	4	2	8	101 (1,339)

#2.8 一生働くか

もし、一生楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きま
すか、それとも働くのをやめますか？

1 ずっと働く	
2 働くのをやめる	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 ずっと 働く	2 働くの をやめる	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M 2	70	25	3	2	100 (1,539)
VI (1978)	K 1	69	25	3	3	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	70	24	3	3	100 (4,429)
	K 2	73	23	2	2	100 (2,256)
	M 1	67	25	4	3	99 (2,173)
VIII (1988)	K+M	65	28	5	3	101 (3,682)
	K 3	68	25	5	2	100 (1,858)
	M 1	62	30	5	3	100 (1,824)
IX (1993)	M 1	60	33	2	5	100 (1,905)
X (1998)	M 4	64	31	1	4	100 (1,341)

#2.10 幸福かためになることか

[リスト] 2人の人が、つぎのような意見をのべました。あなたは、どちらの意見に賛成ですか？

1	人間として生れてきたからには、自分がしあわせにくらすことが第一だ
2	人間として生れてきたからには、なにか小さなことでも、世の中のためになることをしたい
3	その他 [記入]
4	D. K.

	問	1 く し あ わ せ に	2 た 世 め の 中 の な る	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M11	27	66	2	4	99 (1,539)
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	×					
X (1998)	K25	35	62	1	2	100 (1,339)

#2.11 好きなくらし方か人のためか

[リスト] あなたは、つぎの2つの暮らし方のうち、どちらに賛成ですか？

1	人のためにはならなくても、自分の好きなことをしたい
2	自分の好きなことかどうかはともかく、人のためになることをしたい
3	その他 [記入]
4	D. K.

	問	1 自分の 好きなこと	2 人のため なること	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M 6	35	55	5	5	100 (1,913)
VII (1983)	K21a	37	55	4	5	101 (2,256)
	K+M	42	49	4	4	99 (3,682)
VIII (1988)	K19	40	52	5	4	101 (1,858)
	M10	44	47	4	5	100 (1,824)
IX (1993)	M11	44	48	2	6	100 (1,905)
X (1998)	M10	38	53	3	6	100 (1,341)

#2.12 他人のためか自分のためか

たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも、自分のことだけに気をくばっていると思いますか？

1 他人の役にたとうとしている	
2 自分のことだけに気をくばっている	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 他人の役に	2 自分の ことだけ	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K27	19	74	3	4	100 (2,032)
VII (1983)	K 7	24	62	9	5	100 (2,256)
VIII (1988)	×					
IX (1993)	K14	29	58	5	7	99 (1,833)
X (1998)	K14	30	60	3	6	99 (1,339)

#2.12b スキがあれば利用されるか

他人は、スキがあれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それとも、そんなことはないと思いますか？

1	利用しようとしていると思う	
2	そんなことはないと思う	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 と 利用 し よ う と し て い る	2 は そ ん な こ と は な い	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K28	39	53	3	5	100 (2,032)
VII (1983)	K 8	29	59	7	5	100 (2,256)
VIII (1988)	×					
IX (1993)	K15	25	65	2	8	100 (1,833)
X (1998)	K15	28	61	2	9	100 (1,339)

注) 『第4日本人の国民性』では#7.20c に分類

#2.12c 人は信頼できるか

たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、用心するにこしたことはないと思いますか？

1 信頼できると思う	
2 用心するにこしたことはないと思う	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 信頼 できる	2 が 用心 した 方	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K29	26	68	3	3	100 (2,032)
VII (1983)	K 9	31	61	5	2	99 (2,256)
VIII (1988)	×					
IX (1993)	K16	38	55	3	4	100 (1,833)
X (1998)	K16	33	62	2	4	101 (1,339)

注)『第4日本人の国民性』では#7.20bに分類

#2.13 将来に備えるか楽しむか

[リスト] 若いときは、将来に備えるための時期であり、また、楽しむための時期でもあると思います。あなたはそのどちらの方に重点をおくべきだと思いますか？

1 将来に備える方に重点をおくべきだ	
2 楽しむ方に重点をおくべきだ	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 将来に 備える 方	2 楽し む方	3 その 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M 7	72	23	2	2	99 (1,913)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	K20	69	27	3	2	101 (1,858)
IX (1993)	M13	67	29	2	2	100 (1,905)
X (1998)	M12	65	30	2	3	100 (1,341)

#2.30 不安感 重い病気

[リスト] ときどき、自分自身のことや家族のことで、不安になることがあると思います。あなたは、つぎのような危険について、不安を感じるがありますか。まず、「重い病気」の不安は、どの程度でしょうか？

1	非常に感じる	
2	かなり感じる	
3	少しは感じる	
4	まったく感じない	
5	その他 [記入]	
6	D. K.	

	問	1 感 非 じ 常 る に	2 感 可 じ 以 る な る り	3 感 少 じ し る は	4 感 ま じ た じ っ な た い く	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	M25a	29	27	35	8	0	1	100 (2,173)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	M15a	27	23	35	15	-	0	100 (1,341)

#2.30c 不安感 街での暴力

[リスト] では、「街での暴力」については、どの程度でしょうか？

1	非常に感じる	
2	かなり感じる	
3	少しは感じる	
4	まったく感じない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 感 非 常 に 感 じ る	2 感 か な り 感 じ る	3 感 少 し は 感 じ る	4 感 ま っ た く 感 じ な い	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	M25c	23	20	37	17	1	2	100 (2,173)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	M15b	16	22	39	23	-	1	101 (1,341)

#2.30d 不安感 交通事故

[リスト] では、「交通事故」については、どうでしょうか？

1	非常に感じる	
2	かなり感じる	
3	少しは感じる	
4	まったく感じない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 感 非 常 に 感 じ る	2 感 か な り 感 じ る	3 感 少 し は 感 じ る	4 感 ま っ た く 感 じ な い	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	M25d	43	34	19	3	0	1	100 (2,173)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	M15c	30	38	27	6	0	0	101 (1,341)

#2.30e 不安感 失業

[リスト] では、「失業」については、どうでしょうか？

1	非常に感じる	
2	かなり感じる	
3	少しは感じる	
4	まったく感じない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 感じる 非常に	2 感じる かなり	3 感じる 少しは	4 感じる まったく ない	5 その他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	M25e	23	19	31	23	1	2	99 (2,173)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	M15d	20	25	31	21	0	3	100 (1,341)

#2.30f 不安感 戦争

[リスト] では、「戦争」については、どうでしょうか？

1	非常に感じる	
2	かなり感じる	
3	少しは感じる	
4	まったく感じない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 感 非 じ 常 る に	2 感 可 じ り る な る り	3 感 少 じ し る は	4 感 ま じ た な く い く	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	M25f	34	19	31	13	1	2	100 (2,173)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	M15e	26	16	34	23	-	1	100 (1,341)

#2.30g 不安感 原子力施設の事故

[リスト] では、「原子力施設の事故」については、どうでしょうか？

1	非常に感じる	
2	かなり感じる	
3	少しは感じる	
4	まったく感じない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 感 非 常 に 感 じ る	2 感 か な り 感 じ る	3 感 少 し は 感 じ る	4 感 ま っ た く 感 じ な い	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	M25g	26	20	36	13	1	4	100 (2,173)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	M15f	26	26	32	14	-	2	100 (1,341)

#2.30h 不安感 経済面の不安

[リスト] では、「最近の生活の中での経済面の不安」については、どうでしょうか？

1	非常に感じる	
2	かなり感じる	
3	少しは感じる	
4	まったく感じない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 感 非 常 に 感 じ る	2 感 か な り 感 じ る	3 感 少 し は 感 じ る	4 感 ま っ た く 感 じ な い	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	M15g	18	31	38	13	-	1	101 (1,341)

#2.80a 病気 頭痛

[リスト] ここ1ヶ月の間につきにあげるものに悩みましたか (かかりましたか)?
 まず、「頭痛、偏頭痛」についてはどうですか?

1	かかったことあり				
2	かかったことなし				
3	その他 [記入]			4	D. K.

	問	1 こ と か あ つ た	2 こ か つ た な し	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M25a	25	75	0	0	100 (1,905)
X (1998)	M28a	28	72	-	-	100 (1,341)

#2.80b 病気 背中の痛み

[リスト] では、「背中の痛み」についてはどうですか？

1	かかったことあり	
2	かかったことなし	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 こ か か あ り た	2 こ か か な し た	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M25b	25	74	0	0	99 (1,905)
X (1998)	M28b	27	73	-	-	100 (1,341)

#2.80c 病気 いろいろ

[リスト] では、「いろいろ」についてはどうですか？

1	かかったことあり	
2	かかったことなし	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 こ か か つ た こ と あ り た	2 こ か か つ た こ と な し た	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M25c	38	62	0	0	100 (1,905)
X (1998)	M28c	46	54	-	-	100 (1,341)

#2.80d 病気 うつ状態

[リスト] では、「うつ状態」についてはどうですか？

1	かかったことあり	
2	かかったことなし	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 こ か か あ り た	2 こ か か な し た	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M25d	8	92	0	0	100 (1,905)
X (1998)	M28d	10	90	-	0	100 (1,341)

#2.80e 病気 不眠症

[リスト] では、「不眠症」についてはどうですか？

1	かかったことあり	
2	かかったことなし	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 か か あ り た	2 か か あ り な し	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M25e	15	85	0	0	100 (1,905)
X (1998)	M28e	18	82	-	-	100 (1,341)

§3 宗 教

#3.1 宗教を信じるか

宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか？

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | もっている、信じている |
| 2 | もっていない、信じていない、関心がない |

	問	1 信じて いる	2 信じて いない	計
I (1953)	×			
II (1958)	16a	35	65	100 (920)
III (1963)	28a	31	69	100 (2,698)
IV (1968)	33a	30	70	100 (3,033)
V (1973)	K19a	25	75	100 (3,055)
VI (1978)	K11a	34	66	100 (2,032)
VII (1983)	K15a	32	68	100 (2,256)
VIII (1988)	K13a	31	69	100 (1,858)
IX (1993)	K12a	33	67	100 (1,833)
X (1998)	K12a	29	71	100 (1,339)

#3.2b 「宗教心」は大切か

それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思えますか、それとも大切だとは思いませんか？

1 大切	
2 大切でない	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 大切	2 ない 大切 で	3 その 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	K15b	80	11	5	4	100 (2,256)
VIII (1988)	K13b	72	15	8	5	100 (1,858)
IX (1993)	K12b	72	14	3	11	100 (1,833)
X (1998)	K12b	68	20	2	10	100 (1,339)

[参考]

#3.2 「宗教心」は大切か

[これは前問#3.1の答が1の人には質問しない] それでは、いままでの宗教にはかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか？

1	大切	
2	大切でない	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 大切	2 ない大切 で	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	16c	70	17	2	11	100 (600)
III (1963)	28b	77	13	4	6	100 (1,870)
IV (1968)	33b	76	14	5	5	100 (2,113)
V (1973)	K19b	69	15	6	10	100 (2,303)
VI (1978)	K11b	74	13	4	8	99 (1,335)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	×					
X (1998)	×					

注) 第1次(1958)～第6次(1978)調査では前問#3.1の答えが2の人のみに質問、
第7次(1983)調査以降は#3.2bとして全員に質問した。

#3.9 首相の伊勢参り

あたらしく総理大臣になったとき、伊勢の皇大神宮にお参りに行く人がありますが、あなたはこのことをどう思いますか？

1	行かねばならぬ	
2	行った方がよい	
3	本人の自由だ	
4	行かない方がよい	
5	行くべきではない	
6	その他 [記入]	7 D.K.

	問	1 行かねば ならぬ	2 よ い 行 っ た 方 が	3 本 人 の 自 由	4 が よ い 行 か な い 方	5 は な い 行 く べ き で	6 そ の 他	7 D.K.	計
I (1953)	14	7	50	23	6	2	2	10	100 (2,254)
II (1958)	110	5	33	27	12	5	2	16	100 (1,449)
III (1963)	10	4	28	41	9	5	3	10	100 (2,698)
IV (1968)	11	3	28	33	14	6	6	10	100 (3,033)
V (1973)	K14	4	21	48	10	5	3	9	100 (3,055)
VI (1978)	K 7	3	17	51	7	5	8	9	100 (2,032)
VII (1983)	M 6	2	19	52	6	4	9	8	100 (2,173)
VIII (1988)	K 9	2	16	59	6	4	7	6	100 (1,858)
IX (1993)	K 8	2	17	64	6	3	1	8	101 (1,833)
X (1998)	K 9	2	16	62	6	4	1	9	100 (1,339)

§4 子供・家

§4.1 子供

#4.4 先生が悪いことをした

「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれがほんとうであることを知っている場合、子供には

「そんなことはない」

といった方がよいと思いますか、それとも

「それはほんとうだ」

といった方がよいと思いますか？

1	そんなことはないという	
2	ほんとうだという	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 な い と い う こ と は	2 い ほ ん と う だ と	3 そ の 他	4 D.K.	計
I (1953)	9	38	42	12	7	99 (2,254)
II (1958)	6	38	40	11	11	100 (920)
III (1963)	4	33	50	10	8	101 (2,698)
IV (1968)	4	29	52	11	7	99 (3,033)
V (1973)	K 5	31	54	6	8	99 (3,055)
VI (1978)	K 4	27	57	8	8	100 (2,032)
VII (1983)	K 4	26	59	9	6	100 (2,256)
VIII (1988)	K 5	23	62	9	6	100 (1,858)
IX (1993)	K 4	24	59	6	11	100 (1,833)
X (1998)	K 5	20	64	5	10	99 (1,339)

#4.5 子供に「金は大切」と教える

小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。「小さいときから、お金は人にとって、いちばん大切なものと教えるのがよい」というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成	
2 反対	
3 いちがいにはいえない	
4 その他〔記入〕	5 D. K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 は い ち が い に は い え な い	4 そ の 他	5 D. K.	計
I (1953)	24-1	65	24	9	0	2	100 (2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	5	59	23	15	1	1	99 (2,698)
IV (1968)	5	57	28	12	1	2	100 (3,033)
V (1973)	K 6	44	38	17	0	1	100 (3,055)
VI (1978)	K 5	44	40	13	1	2	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	43	42	13	1	1	100 (4,429)
	K 5	43	42	13	1	1	100 (2,256)
	M 4	43	41	14	1	1	100 (2,173)
VIII (1988)	K 6	35	47	16	1	1	100 (1,858)
IX (1993)	K 5	35	45	18	0	1	99 (1,833)
X (1998)	K 6	31	51	17	0	1	100 (1,339)

#4.13 就職のとき

[リスト] 学校を卒業して、仕事のため、家から離れて行く自分の子供に、2人の親がつぎのように言いました。親としては、どちらの言い方がよいと思いますか？

- 1 こまったことがあったら、まず親に相談しなさい
 2 今後はこまったことがあっても、親を頼りにしてはいけない
 3 その他 [記入] 4 D. K.

	問	1 し相談 しなさい	2 頼るな	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M15a	58	37	2	3	100 (1,539)
VI (1978)	M12a	67	30	2	2	101 (1,913)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	M13a	61	36	2	2	101 (1,824)
IX (1993)	×					
X (1998)	M14	76	22	1	2	101 (1,341)

#4.16 子供の将来の性質

[リスト] 子供がいるとしたら、あなたは、将来、どのような性質を持つ大人になってほしいと思いますか。つぎの中から、特に重要と思うものを 3つ 選んでください？

[上の質問では、3つの項目をあげてもらうこと]

1	礼儀正しさ
2	規則を守り、人に迷惑をかけない公共心
3	公正さや正義感
4	他人のことを思いやる心
5	落ち着きや情緒の安定
6	責任感
7	人前で自分の意見をはっきり言う力
8	自分で物事を計画し実行する力
9	特にない
10	その他 [記入]

11 D. K.

	問	1 礼儀正しさ	2 公共心	3 正義感	4 思いやる心	5 情緒の安定	6 責任感	7 人前で 意見を言う	8 実行する力	9 特にない	10 その他	11 D.K.	計 (複数回答)
I (1953)	×												
II (1958)	×												
III (1963)	×												
IV (1968)	×												
V (1973)	×												
VI (1978)	×												
VII (1983)	×												
VIII (1988)	×												
IX (1993)	×												
X (1998)	K+M	38	62	18	66	9	47	30	23	0	2	0	— (2,680)
	K23	39	61	18	67	9	47	31	22	0	2	0	— (1,339)
	M13	38	63	17	65	9	47	29	23	0	2	1	— (1,341)

注) この質問文は「子どもと家族に関する国際比較調査報告書」(総務庁青少年対策本部、平成7年12月)の質問(問17)を変更したものである。

§4.2 家

#4.10 他人の子供を養子にするか

子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか？

1	つがせた方がよい	
2	つがせないでもよい、意味がない	
3	場合による	
4	その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 つがせる	2 つがせない	3 場合による	4 その他	5 D.K.	計
I (1953)	28-1	74	16	7	1	3	101 (2,254)
II (1958)	106	63	21	8	1	7	100 (1,449)
III (1963)	2	51	32	12	1	4	100 (2,698)
IV (1968)	2	43	41	9	2	5	100 (3,033)
V (1973)	K 3	36	41	17	1	5	100 (3,055)
VI (1978)	K 3	32	48	12	1	7	100 (2,032)
VII (1983)	M 3	27	51	15	2	5	100 (2,173)
VIII (1988)	K 2	28	52	15	2	3	100 (1,858)
IX (1993)	K 2	22	56	16	1	5	100 (1,833)
X (1998)	K 2	22	58	16	0	4	100 (1,339)

#4.11 先祖を尊ぶか

あなたはどちらかといえば、先祖を尊ぶ方ですか、それとも尊ばない方ですか？

1 尊ぶ方	
2 普通	
3 尊ばない方	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 尊ぶ方	2 普通	3 尊ばない方	4 その他	5 D. K.	計
I (1953)	3	77	15	5	1	2	100 (2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	K20	67	21	10	1	1	100 (3,055)
VI (1978)	K10	72	16	10	1	1	100 (2,032)
VII (1983)	K14	71	15	13	1	1	101 (2,256)
VIII (1988)	K12	66	21	12	1	1	101 (1,858)
IX (1993)	K11	65	27	7	0	1	100 (1,833)
X (1998)	K11	60	27	12	0	1	100 (1,339)

§5 身近な社会

#5.1 恩人がキトクするとき

[絵を見せながら] 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受けとったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。

[ここでリストを見せる] あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を一つだけえらんで下さい？

1	何をおいても、すぐ故郷へ帰る	
2	故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 故郷へ帰る	2 会議に出る	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	41	54	41	1	4	100 (2,254)
II (1958)	111a	50	39	2	9	100 (1,449)
III (1963)	13a	46	46	2	5	99 (2,698)
IV (1968)	15a	46	47	2	5	100 (3,033)
V (1973)	K21a	51	40	2	8	101 (3,055)
VI (1978)	K15a	51	42	1	5	99 (2,032)
VII (1983)	K+M	52	41	2	5	100 (4,429)
	K16a	52	41	3	4	100 (2,256)
	M16a	52	41	2	5	100 (2,173)
VIII (1988)	K14a	52	41	3	4	100 (1,858)
IX (1993)	K18a	49	42	1	8	100 (1,833)
X (1998)	K18a	46	45	1	8	100 (1,339)

#5.1b 親がキトクするとき

[絵、リスト] いまの質問では、恩人が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトクなのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか、どちらかえらんで下さい？

1	何をおいても、すぐ故郷へ帰る	
2	故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 故郷へ帰る	2 会議に出る	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	42	49	47	1	3	100 (2,254)
II (1958)	111b	50	41	2	7	100 (1,449)
III (1963)	13b	45	47	2	6	100 (2,698)
IV (1968)	15b	44	49	3	4	100 (3,033)
V (1973)	K21b	51	41	2	7	101 (3,055)
VI (1978)	K15b	49	44	1	5	99 (2,032)
VII (1983)	K+M	49	45	2	4	100 (4,429)
	K16b	49	45	2	3	99 (2,256)
	M16b	49	45	2	4	100 (2,173)
VIII (1988)	K14b	53	41	2	4	100 (1,858)
IX (1993)	K18b	48	44	1	7	100 (1,833)
X (1998)	K18b	44	47	1	8	100 (1,339)

#5.1 恩人がキトクするとき × #5.1b 親がキトクするとき

	恩人	1 故郷	2 故郷	3 会議	4 会議	5 その他の 組合せ	計
	親	会議	故郷	故郷	会議		
I (1953)	41 42	15	38	9	31	6	99 (2,254)
II (1958)	111a 111b	11	37	10	27	14	99 (1,449)
III (1963)	13a 13b	10	34	9	35	11	99 (2,698)
IV (1968)	15a 15b	12	32	11	35	9	99 (3,033)
V (1973)	K21a K21b	9	40	8	30	12	99 (3,055)
VI (1978)	K15a K15b	12	38	9	31	9	99 (2,032)
VII (1983)	K+M	13	38	9	31	9	100 (4,429)
	K16a K16b	12	38	9	31	9	99 (2,256)
	M16a M16b	13	37	10	31	9	100 (2,173)
VIII (1988)	K14a K14b	9	41	10	30	9	99 (1,858)
IX (1993)	K18a K18b	9	40	6	35	10	100 (1,833)
X (1998)	K18a K18b	9	36	6	38	11	100 (1,339)

#5.1c-1 入社試験（親戚）

[リスト] あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を一人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。あなたはどちらをとれ（採用しろ）といえますか？

1	1番の人を採用するようにいう	
2	親戚を採用するようにいう	
3	その他 [記入]	4 D.K.

	問	1 1番の人	2 親戚の人	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20a	75	19	2	4	100 (2,698)
IV (1968)	22a	78	17	2	4	101 (3,033)
V (1973)	K+M	73	19	1	7	100 (4,594)
	K28a	73	19	1	7	100 (3,055)
	M16a	72	19	1	8	100 (1,539)
VI (1978)	K21a	72	22	2	4	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	70	23	3	4	100 (4,429)
	K22a	71	23	2	4	100 (2,256)
	M21a	70	23	3	4	100 (2,173)
VIII (1988)	K21a	70	24	3	3	100 (1,858)
IX (1993)	K25a	67	24	1	8	100 (1,833)
X (1998)	K26a	70	22	1	7	100 (1,339)

#5.1c-2 入社試験（恩人の子）

[リスト] それでは、このばあい、2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたの恩人の子供だったとしたら、あなたは どうしますか？（どちらをとれといひますか？）

1	1番の人を採用するよういいう	
2	恩人の子供を採用するよういいう	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 1 番 の 人	2 恩 人 の 子	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20b	48	44	2	6	100 (2,698)
IV (1968)	22b	54	39	2	5	100 (3,033)
V (1973)	K+M	52	38	2	8	100 (4,594)
	K28b	52	39	2	8	101 (3,055)
	M16b	52	38	1	9	100 (1,539)
VI (1978)	K21b	47	46	2	5	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	46	47	2	5	100 (4,429)
	K22b	46	47	2	5	100 (2,256)
	M21b	47	46	3	5	101 (2,173)
VIII (1988)	K21b	45	49	3	4	101 (1,858)
IX (1993)	K25b	45	44	2	9	100 (1,833)
X (1998)	K26b	49	42	1	8	100 (1,339)

#5.1c-1 入社試験（親戚） × #5.1c-2 入社試験（恩人の子）

	親 戚	1 1 番	2 親 戚	3 親 戚	4 1 番	5 そ の 他 の 組 合 せ	計
	の恩 子人	恩 人	恩 人	1 番	1 番		
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	20a 20b	25	17	2	46	10	100 (2,698)
IV (1968)	22a 22b	23	14	2	52	10	101 (3,033)
V (1973)	K+M	20	16	2	49	12	99 (4,594)
	K28a K28b	20	17	2	50	12	101 (3,055)
	M16a M16b	21	16	2	49	13	101 (1,539)
VI (1978)	K21a K21b	25	20	2	45	8	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	24	21	2	44	9	100 (4,429)
	K22a K22b	24	21	2	44	9	100 (2,256)
	M21a M21b	23	20	2	44	10	99 (2,173)
VIII (1988)	K21a K21b	26	21	2	42	9	100 (1,858)
IX (1993)	K25a K25b	21	22	2	43	12	100 (1,833)
X (1998)	K26a K26b	21	20	2	47	11	101 (1,339)

#5.1d 大切な道徳

[リスト] つぎのうち、大切なことを 2つ あげてくれといわれたら、どれにしますか？

[上の質問では、2つの項目をあげてもらうこと]

1	親孝行をすること	
2	恩返しをすること	
3	個人の権利を尊重すること	
4	自由を尊重すること	
5	その他 [記入]	
6	D. K.	

	問	1 親 孝 行	2 恩 返 し	3 権 利 尊 重	4 自 由 尊 重	5 そ の 他	6 D. K.	計 (複数回答)
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	17	60	43	49	40	1	2	— (2,698)
IV (1968)	20	61	44	43	46	0	2	— (3,033)
V (1973)	K26	63	42	45	43	1	2	— (3,055)
VI (1978)	K18	70	47	38	39	0	2	— (2,032)
VII (1983)	K19	73	50	36	37	0	1	— (2,256)
VIII (1988)	K17	71	47	36	42	0	1	— (1,858)
IX (1993)	K21	69	43	38	42	3	2	— (1,833)
X (1998)	K21	70	43	40	43	0	1	— (1,339)

#5.1d 大切な道徳の組合せ

	問	1 孝 行 × 恩 返	2 孝 行 × 権 利	3 孝 行 × 自 由	4 恩 返 × 権 利	5 恩 返 × 自 由	6 権 利 × 自 由	7 は 恩 返 の み 又	8 は 孝 行 の み 又	9 は 権 利 の み 又 そ の 他 の 組 合 せ	計
I (1953)	×										
II (1958)	×										
III (1963)	17	28	19	12	8	7	21	1	1	3	100 (2,698)
IV (1968)	20	28	15	18	8	8	19	1	1	2	100 (3,033)
V (1973)	K26	28	17	16	8	6	20	1	1	3	100 (3,055)
VI (1978)	K18	34	17	19	7	7	14	1	0	2	101 (2,032)
VII (1983)	K19	36	18	18	6	7	12	1	0	1	99 (2,256)
VIII (1988)	K17	34	16	21	6	7	14	1	1	1	101 (1,858)
IX (1993)	K21	31	17	20	6	6	15	-	-	4	99 (1,833)
X (1998)	K21	31	19	19	5	8	15	1	1	1	100 (1,339)

#5.6 めんどうをみる課長

[リスト] ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか、どちらか一つあげて下さい？

- | | | | |
|---|---|---|-------|
| 1 | 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことで人のめんどうを見ません | 4 | D. K. |
| 2 | 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます | | |
| 3 | その他 [記入] | | |

	問	1 み め な い め ん ど う を	2 み め ん ど う を	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	35	12	85	1	2	100 (2,254)
II (1958)	117	14	78	2	7	101 (1,449)
III (1963)	21	12	82	1	5	100 (2,698)
IV (1968)	23	12	84	1	4	101 (3,033)
V (1973)	K29	13	81	1	5	100 (3,055)
VI (1978)	K22	10	87	0	3	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	9	89	1	2	101 (4,429)
	K23	8	89	0	2	99 (2,256)
	M22	9	88	1	2	100 (2,173)
VIII (1988)	K+M	10	87	1	2	100 (3,682)
	K22	10	88	1	2	101 (1,858)
	M18	10	87	1	3	101 (1,824)
IX (1993)	K26	12	82	0	5	99 (1,833)
X (1998)	K27	16	80	0	4	100 (1,339)

#5.6* 上役とのつき合い

あなたが会社で働いているとします。その場合、上役と仕事以外のつき合いはなくてもよいと思いますか、それともあった方がよいと思いますか？

1	なくてもよい				
2	あった方がよい				
3	その他 [記入]			4	D. K.

	問	1 よ なく ても	2 よ あ つ た 方 が	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M 5	22	72	2	5	101 (1,539)
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	×					
X (1998)	M 9	39	55	2	4	100 (1,341)

#5.6b つとめたい会社

[リスト] つぎのような2つの会社があるとします。もしあなたがつとめるとしたら、どちらの会社の方がよいですか？

1	給料は多いが、レクリエーションのための運動会や旅行などはしない会社	
2	給料はいくらか少ないが、運動会や旅行などをして、家族的な雰囲気のある会社	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 多 給 料 が 会 社	2 家 族 的 な 雰 囲 気	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M18	21	74	1	4	100 (1,539)
VI (1978)	K23	18	78	1	3	100 (2,032)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M19	30	65	1	4	100 (1,905)
X (1998)	M20	34	62	1	3	100 (1,341)

#5.6h 他人との仲か仕事か

[リスト] つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか？

1	他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事の上ではパツとしない人
2	仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人
3	その他 [記入]
4	D. K.

	問	1 他人と 仲がよ い	2 仕事よ く でき る	3 そ の 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K14	72	11	7	10	100 (2,032)
VII (1983)	K26	75	11	6	8	100 (2,256)
VIII (1988)	×					
IX (1993)	K27	77	12	3	9	101 (1,833)
X (1998)	K28	77	11	2	10	100 (1,339)

#5.17 社会生活で注意しあう

[リスト] 社会生活をするうえで、あなたはつぎのどちらがよいと思いますか？

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1 自分では気がつかないことがあるから、お互いに注意しあう | 4 D. K. |
| 2 自分自身はきちんとし、他人への注意はさしひかえる | |
| 3 その他 [記入] | |

	問	1 注意しあう	2 注意はさし ひかえる	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973) ^{注)}	M12	75	22	1	3	101 (1,539)
VI (1978)	M 9	73	25	1	2	101 (1,913)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	×					
X (1998)	M22	70	28	0	2	100 (1,341)

注) 第5次(1973)調査の質問文は以下のとおり。

社会での生活をなめらかにしてゆくには、どちらがよいと思いますか？

#5.23 能力か功労か

会社で給料や賃金を決めるときに、その人の現在の能力を重視して決めるべきだと思いますか、それとも、その人のこれまでの会社に対する功労を重視して決めるべきだと思いますか？

1	その人の現在の能力を重視して決めるべきだ	
2	その人のこれまでの会社に対する功労を重視して決めるべきだ	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 能力 重視	2 功労 重視	3 その 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M 8	59	30	4	8	101 (1,905)
X (1998)	M 8	61	29	3	7	100 (1,341)

#5.24 勤め先を変えるか

[リスト] 勤め先を変えることについて、つぎのような2つの意見があります。あなたはどちらに賛成ですか？

- | | | |
|---|-------------------------------------|---------|
| 1 | いまよりよい条件の勤め先があれば、かわった方がよい | |
| 2 | いまよりよい条件の勤め先があっても、一つの勤め先にながく勤めるのがよい | |
| 3 | その他 [記入] | 4 D. K. |

	問	1 が か よ い か わ っ た 方	2 な が く 勤 め る の が よ い	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M17	41	52	1	6	100 (1,905)
X (1998)	M18	42	53	1	4	100 (1,341)

#5.25 リーダーの条件

〔リスト〕 職場でのよきリーダーはどんな資質を持っているべきでしょうか。重要なもの 3つをつぎの中から選んでください？

〔上の質問では、3つの項目をあげてもらうこと〕

1	部下に利益をもたらすこと	
2	部下に尊敬され、好かれること	
3	技術的にすぐれていること	
4	仕事仲間に誠意をもって接すること	
5	若くて有能であること	
6	人間関係がよく、顔が広いこと	
7	その他〔記入〕	
		8 D.K.

	問	1 部下に利益	2 部下に尊敬	3 技術的に すぐれる	4 仲間に誠意	5 若くて有能	6 よい 人間関係が	7 その他	8 D.K.	計 (複数回答)
I (1953)	×									
II (1958)	×									
III (1963)	×									
IV (1968)	×									
V (1973)	×									
VI (1978)	×									
VII (1983)	×									
VIII (1988)	×									
IX (1993)	M18	21	77	47	69	7	49	8	3	— (1,905)
X (1998)	M19	21	74	47	71	8	51	7	2	— (1,341)

§6 男女の差異

#6.2 男・女の生まれかわり

もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに、生れてきたいと思いますか？

1 男に	
2 女に	
3 その他 [記入]	4 D.K.

	問	1 男に	2 女に	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	103	76	17	5	2	100 (1,449)
III (1963)	1a	70	23	4	3	100 (2,698)
IV (1968)	1a	65	28	4	4	101 (3,033)
V (1973)	K+M	63	30	3	4	100 (4,594)
	K 1a	63	30	3	4	100 (3,055)
	M 1a	63	30	3	4	100 (1,539)
VI (1978)	M 1a	62	31	3	3	99 (1,913)
VII (1983)	K 1	61	34	3	2	100 (2,256)
VIII (1988)	K 1	59	35	4	2	100 (1,858)
IX (1993)	K 1	56	37	2	5	100 (1,833)
X (1998)	K+M	55	39	1	5	100 (2,680)
	K 1	56	38	2	4	100 (1,339)
	M 1	53	40	1	6	100 (1,341)

#6.2 男・女の生まれかわり (男女別)

		問	1 男に	2 女に	3 その他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	90	5	4	1	100 (684)
	III (1963)	1a	88	7	3	2	100 (1,252)
	IV (1968)	1a	89	5	4	3	101 (1,427)
	V (1973)	K+M	89	5	2	3	99 (2,063)
		K 1a	88	6	2	4	100 (1,395)
		M 1a	90	5	3	3	101 (668)
	VI (1978)	M 1a	90	4	3	3	100 (832)
	VII (1983)	K 1	90	5	3	2	100 (988)
	VIII (1988)	K 1	90	4	4	2	100 (837)
	IX (1993)	K 1	88	3	3	6	100 (836)
	X (1998)	K+M	88	5	2	5	100 (1,216)
		K 1	89	5	2	4	100 (615)
		M 1	87	6	1	6	100 (601)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	64	27	5	3	99 (765)
	III (1963)	1a	55	36	5	4	100 (1,446)
	IV (1968)	1a	43	48	4	5	100 (1,606)
	V (1973)	K+M	42	51	3	4	100 (2,531)
		K 1a	42	51	3	4	100 (1,660)
		M 1a	43	50	3	5	101 (871)
	VI (1978)	M 1a	41	52	3	4	100 (1,081)
	VII (1983)	K 1	39	56	3	2	100 (1,268)
	VIII (1988)	K 1	34	59	5	2	100 (1,021)
	IX (1993)	K 1	29	65	1	4	99 (997)
	X (1998)	K+M	28	67	1	4	100 (1,464)
		K 1	29	66	1	3	99 (724)
		M 1	26	67	1	5	99 (740)

#6.2c 苦勞どちらが多いか

今の日本では、ひとくちでいうと、男と女ではどちらの方が苦勞が多いと思いますか？

1 男が多い	
2 女が多い	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 男 が 多 い	2 女 が 多 い	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	1b	47	34	12	7	100 (2,698)
IV (1968)	1b	53	27	15	6	101 (3,033)
V (1973)	K+M	55	26	12	7	100 (4,594)
	K 1b	55	26	12	6	99 (3,055)
	M 1b	54	27	11	8	100 (1,539)
VI (1978)	M 1b	54	26	14	5	99 (1,913)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	×					
X (1998)	M 2a	44	36	12	8	100 (1,341)

#6.2c 苦勞どちらが多いか (男女別)

		問	1 男が多い	2 女が多い	3 その他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	1b	57	25	12	6	100 (1,252)
	IV (1968)	1b	60	19	15	5	99 (1,427)
	V (1973)	K+M	64	18	11	7	100 (2,063)
		K 1b	65	17	12	6	100 (1,395)
		M 1b	64	18	9	9	100 (668)
	VI (1978)	M 1b	58	20	16	6	100 (832)
	VII (1983)	×					
	VIII (1988)	×					
	IX (1993)	×					
	X (1998)	M 2a	47	29	15	9	100 (601)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	1b	39	42	12	7	100 (1,446)
	IV (1968)	1b	47	33	14	6	100 (1,606)
	V (1973)	K+M	47	33	13	7	100 (2,531)
		K 1b	48	33	13	6	100 (1,660)
		M 1b	47	34	13	7	101 (871)
	VI (1978)	M 1b	51	32	12	5	100 (1,081)
	VII (1983)	×					
	VIII (1988)	×					
	IX (1993)	×					
	X (1998)	M 2a	42	41	9	8	100 (740)

#6.2d 楽しみどちらが多いか

それでは、どちらの方が楽しみが多いと思いますか？

1 男が多い	
2 女が多い	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 男が 多い	2 女が 多い	3 その 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	1c	69	12	11	9	101 (2,698)
IV (1968)	1c	63	13	16	8	100 (3,033)
V (1973)	K+M	67	13	11	8	99 (4,594)
	K 1c	67	13	12	9	101 (3,055)
	M 1c	67	14	11	8	100 (1,539)
VI (1978)	M 1c	66	14	12	8	100 (1,913)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	×					
X (1998)	M 2b	43	34	10	13	100 (1,341)

#6.2d 楽しみどちらが多いか (男女別)

		問	1 男が 多い	2 女が 多い	3 その 他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	1c	71	10	10	8	99 (1,252)
	IV (1968)	1c	66	10	17	7	100 (1,427)
	V (1973)	K+M	71	11	10	8	100 (2,063)
		K 1c	70	11	11	8	100 (1,395)
		M 1c	74	10	10	7	101 (668)
	VI (1978)	M 1c	71	8	12	8	99 (832)
	VII (1983)	×					
	VIII (1988)	×					
	IX (1993)	×					
	X (1998)	M 2b	54	20	13	14	101 (601)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	1c	67	13	11	10	101 (1,446)
	IV (1968)	1c	60	16	15	9	100 (1,606)
	V (1973)	K+M	63	16	12	9	100 (2,531)
		K 1c	64	15	12	9	100 (1,660)
		M 1c	62	17	12	9	100 (871)
	VI (1978)	M 1c	62	19	11	8	100 (1,081)
	VII (1983)	×					
	VIII (1988)	×					
	IX (1993)	×					
	X (1998)	M 2b	34	46	8	13	101 (740)

#6.2c 男の子と女の子

子供を一人だけもつとしたら、男の子の方がよいですか、女の子の方がよいですか、それとも、どちらでもよいですか？

1	男の子	
2	女の子	
3	どちらでもよい	
4	その他【記入】	5 D.K.

	問	1 男の子	2 女の子	3 どちら でもよい	4 その他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	×						
VI (1978)	×						
VII (1983)	×						
VIII (1988)	M 2	32	29	37	1	1	100 (1,824)
IX (1993)	M 2	33	36	30	0	1	100 (1,905)
X (1998)	M 5	28	47	23	0	1	99 (1,341)

#6.2e 男の子と女の子 (男女別)

		問	1 男の子	2 女の子	3 どちら でもよい	4 その他	5 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×						
	II (1958)	×						
	III (1963)	×						
	IV (1968)	×						
	V (1973)	×						
	VI (1978)	×						
	VII (1983)	×						
	VIII (1988)	M 2	45	15	36	2	1	99 (805)
	IX (1993)	M 2	45	19	34	1	1	100 (888)
	X (1998)	M 5	40	28	30	1	1	100 (601)
女 の み	I (1953)	×						
	II (1958)	×						
	III (1963)	×						
	IV (1968)	×						
	V (1973)	×						
	VI (1978)	×						
	VII (1983)	×						
	VIII (1988)	M 2	22	40	37	1	1	101 (1,019)
	IX (1993)	M 2	22	50	26	0	1	99 (1,017)
	X (1998)	M 5	19	62	18	0	1	100 (740)

#6.2f どちらがトクか

今の日本では、ひとくちでいうと、男と女ではどちらの方がトクだと思いますか？

1 男がトクだ	
2 女がトクだ	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 男が トク	2 女が トク	3 その 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	×					
X (1998)	M 3	42	36	7	15	100 (1,341)

#6.2f どちらがトクか (男女別)

		問	1 男が トク	2 女が トク	3 その 他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	×					
	IV (1968)	×					
	V (1973)	×					
	VI (1978)	×					
	VII (1983)	×					
	VIII (1988)	×					
	IX (1993)	×					
	X (1998)	M 3	46	32	8	15	101 (601)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	×					
	IV (1968)	×					
	V (1973)	×					
	VI (1978)	×					
	VII (1983)	×					
	VIII (1988)	×					
	IX (1993)	×					
	X (1998)	M 3	39	39	7	15	100 (740)

#6.5 男女の能力差

生まれつき、物事を考えたり、まとめたりする能力は、男と女で差があると思いますか？

1 差がある	
2 差はない	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 差 あり	2 差 なし	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	120	63	29	2	6	100 (1,449)
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	M 5	54	41	2	3	100 (1,824)
IX (1993)	M 5	49	44	2	5	100 (1,905)
X (1998)	K 3	44	50	1	4	99 (1,339)

#6.5 男女の能力差 (男女別)

		問	1 差あり	2 差なし	3 その他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	120	63	31	2	5	101 (684)
	III (1963)	×					
	IV (1968)	×					
	V (1973)	×					
	VI (1978)	×					
	VII (1983)	×					
	VIII (1988)	M 5	55	41	2	2	100 (805)
	IX (1993)	M 5	51	43	2	5	101 (888)
	X (1998)	K 3	43	51	2	5	101 (615)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	120	63	28	2	7	100 (765)
	III (1963)	×					
	IV (1968)	×					
	V (1973)	×					
	VI (1978)	×					
	VII (1983)	×					
	VIII (1988)	M 5	53	41	3	4	101 (1,019)
	IX (1993)	M 5	48	45	2	4	99 (1,017)
	X (1998)	K 3	46	49	1	4	100 (724)

§7 一般の社会的問題

#7.1 人間らしさはへるか

こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成 [人間らしさはへる]	
2 いちがいにいえない	
3 反対 [人間らしさ不変、ふえる]	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 賛 成	2 い い ち が い な い に	3 反 対	4 そ の 他	5 D. K.	計
I (1953)	5 ^{注)}	30	17	35	1	17	100 (2,254)
II (1958)	3	33	17	34	0	16	100 (920)
III (1963)	6	38	22	28	1	12	101 (2,698)
IV (1968)	7	40	16	35	1	8	100 (3,033)
V (1973)	K10	50	21	22	1	6	100 (3,055)
VI (1978)	K 2	43	21	30	1	5	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	48	20	28	1	4	101 (4,429)
	K 3	46	19	30	1	3	99 (2,256)
	M 2	49	20	26	1	4	100 (2,173)
VIII (1988)	K 4	47	24	26	1	3	101 (1,858)
IX (1993)	K 3	51	26	19	0	3	99 (1,833)
X (1998)	K 4	54	25	17	0	3	99 (1,339)

注) 第1次(1953)調査の質問文は以下のとおり。

「世の中はだんだん機械が発達して便利になって来たが、それにつれて人間らしさがなくなってくる」という意見があります。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

#7.2 心の豊かさはへらないか

こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはしない」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 反対 [へる]	
2 いちがいにいえない	
3 賛成 [へらない]	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 （へる） 反対	2 いちがいに いえない	3 （へらない） 賛成	4 その他	5 D.K.	計
I (1953)	29 ^{注)}	17	8	58	1	16	100 (2,254)
II (1958)	24	21	10	53	1	16	101 (920)
III (1963)	12	18	19	49	0	13	99 (2,698)
IV (1968)	13	22	13	56	1	9	101 (3,033)
V (1973)	K18	31	20	42	1	7	101 (3,055)
VI (1978)	K12	25	15	53	1	6	100 (2,032)
VII (1983)	M 8	31	17	46	1	5	100 (2,173)
VIII (1988)	K27	33	22	42	1	3	101 (1,858)
IX (1993)	K13	25	24	47	0	4	100 (1,833)
X (1998)	K13	30	22	44	0	3	99 (1,339)

注) 第1次 (1953) 調査の質問文は以下のとおり。

「どんなに文明が進歩しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはしない」という意見がありますが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

#7.4 日本と個人の幸福

[リスト] あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。一つだけあげてください？

1	個人が幸福になって、はじめて日本全体がよくなる	
2	日本がよくなって、はじめて個人が幸福になる	
3	日本がよくなることも、個人が幸福になることも同じである	
4	その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 個人 ↓ 日本	2 日本 ↓ 個人	3 日本 ⇕ 個人	4 その 他	5 D. K.	計
I (1953)	45	25	37	31	1	6	100 (2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	16	30	30	34	0	7	101 (2,698)
IV (1968)	19	27	32	36	1	5	101 (3,033)
V (1973)	K25	30	26	37	0	6	99 (3,055)
VI (1978)	K17	27	27	41	0	4	99 (2,032)
VII (1983)	K18	25	30	40	1	4	100 (2,256)
VIII (1988)	K16	29	25	42	0	4	100 (1,858)
IX (1993)	K20	30	26	40	0	4	100 (1,833)
X (1998)	K20	28	28	40	0	3	99 (1,339)

#7.4b 国の繁栄と国民の生活

[リスト] 国の繁栄ということについて、つぎの2つの意見があります。あなたはどちらの意見に賛成ですか？

- | | | |
|---|--|---------|
| 1 | 国が繁栄しても、一部の人がもうけるばかりで、国民ひとりひとりの生活はよくなる | |
| 2 | 国が繁栄すれば、国民ひとりひとりの生活もよくなる | |
| 3 | その他 [記入] | 4 D. K. |

	問	1 よくなる	2 よくなる	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M20	37	57	1	5	100 (1,913)
VII (1983)	K30	33	63	1	3	100 (2,256)
VIII (1988)	K29	47	48	1	3	99 (1,858)
IX (1993)	K30	40	55	1	4	100 (1,833)
X (1998)	K32	36	60	0	4	100 (1,339)

#7.18 人間の健康の面はよくなるか

これから先、人間の健康の面はよくなってゆくとお思いますか、わるくなるとお思いますか？

1	よくなる	
2	わるくなる	
3	変わらない	
4	その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 よくなる	2 わるくなる	3 変わらない	4 その他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27a	25	55	13	1	6	100 (1,539)
VI (1978)	M25a	49	35	10	1	4	99 (1,913)
VII (1983)	×						
VIII (1988)	×						
IX (1993)	×						
X (1998)	M32a	16	67	13	0	4	100 (1,341)

#7.18b 心のやすらかさはますか

では、心のやすらかさは、ますと思いますか、へると思いますか？

1	ます	
2	へる	
3	変わらない	
4	その他 [記入]	
5	D. K.	

	問	1 ます	2 へる	3 変わらない	4 その他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27b	13	64	13	1	9	100 (1,539)
VI (1978)	M25b	24	51	15	2	8	100 (1,913)
VII (1983)	×						
VIII (1988)	×						
IX (1993)	×						
X (1998)	M32b	9	70	16	0	4	99 (1,341)

#7.18c 人間の自由はふえるか

人間の自由は、ふえると思いますか、へると思いますか？

1	ふえる	
2	へる	
3	変わらない	
4	その他 [記入]	
5	D. K.	

	問	1 ふえる	2 へる	3 変わらない	4 その他	5 D. K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27c	43	27	17	1	11	99 (1,539)
VI (1978)	M25c	51	24	16	1	8	100 (1,913)
VII (1983)	×						
VIII (1988)	×						
IX (1993)	×						
X (1998)	M32c	31	35	28	0	6	100 (1,341)

#7.18d 生活は豊かになるか

ひとびとの生活は、豊かになると思いますか、^貧貧しくなると思いますか？

1 豊かに	
2 貧しく	
3 変わらない	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 豊かに	2 貧しく	3 変わらない	4 その他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27d	38	30	19	3	10	100 (1,539)
VI (1978)	M25d	44	25	21	2	8	100 (1,913)
VII (1983)	×						
VIII (1988)	×						
IX (1993)	×						
X (1998)	M32d	15	50	27	0	7	99 (1,341)

#7.18e 幸福になるか

ひとびとは幸福になると思いますか、不幸になると思いますか？

1 幸福に	
2 不幸に	
3 変わらない	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 幸福に	2 不幸に	3 変わらない	4 その他	5 D. K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27e	27	26	24	4	19	100 (1,539)
VI (1978)	M25e	37	19	24	5	16	101 (1,913)
VII (1983)	×						
VIII (1988)	×						
IX (1993)	×						
X (1998)	M32e	19	28	36	1	16	100 (1,341)

#7.19 才能か運か

いまの社会で成功している人を見て、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割をはたしていると思いますか？

1 個人の才能や努力	
2 運やチャンス	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 才能や努力	2 運やチャンス	3 その他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M 2	44	38	9	8	99 (1,913)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	M 6	49	35	12	5	101 (1,824)
IX (1993)	M 6	52	35	8	5	100 (1,905)
X (1998)	M 7	48	42	6	5	101 (1,341)

#7.20 自分の責任か

[リスト] つぎのような意見があります。

「人の身の上にかかることは、よいことでもわるいことでも、その人の責任だ」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、反対ですか？

1 賛成	
2 やや賛成	
3 やや反対	
4 反対	
5 その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 賛 成	2 やや 賛 成	3 やや 反 対	4 反 対	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	M11a	32	28	16	15	2	6	99 (1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	K23	23	35	21	13	1	6	99 (1,833)
X (1998)	K24	25	37	18	15	1	4	100 (1,339)

#7.22 万事金か

[リスト] では、「たいていのことは金でなんとかなる」という意見には、賛成ですか、反対ですか？

1 賛成	
2 やや賛成	
3 やや反対	
4 反対	
5 その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 賛成	2 やや 賛成	3 やや 反対	4 反対	5 その 他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	M11b	12	18	20	47	1	2	100 (1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M16b	11	31	24	32	1	1	100 (1,824)
IX (1993)	×							
X (1998)	M27	5	23	36	35	0	1	100 (1,341)

#7.24 就職の第1の条件

[リスト] ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。あなたは、どれに1番関心がありますか？

1	かなりよい給料がもらえること	
2	倒産や失業の恐れがない仕事	
3	気の合った人たちと働くこと	
4	やりとげたという感じがもてる仕事	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 よい 給料	2 失 業の 恐 れ が な い	3 気 の 合 っ た 人 た ち	4 や り と げ た と う 感 じ	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	K24a	7	23	30	38	0	2	100 (2,032)
	K+M	7	17	33	39	1	2	99 (4,429)
VII (1983)	K25	7	16	33	42	1	2	101 (2,256)
	M23	8	19	33	37	1	2	100 (2,173)
	K+M	10	15	36	36	1	2	100 (3,682)
VIII (1988)	K24	9	14	35	39	1	1	99 (1,858)
	M17	10	17	36	34	1	2	100 (1,824)
IX (1993)	M16a	12	20	31	33	0	3	99 (1,905)
	K+M	7	23	29	36	0	4	99 (2,680)
X (1998)	K30a	7	18	31	41	0	2	99 (1,339)
	M17	7	29	26	32	0	5	99 (1,341)

#7.24b 就職の第2の条件

[リスト] では、2番目はどれですか？

1	かなりよい給料がもらえること	
2	倒産や失業の恐れがない仕事	
3	気の合った人たちと働くこと	
4	やりとげたという感じがもてる仕事	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 よい 給料	2 が ない 失業の 恐れ	3 人 たち 気の 合った	4 や り と げ た と う 感 じ	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	K24b	20	24	30	22	0	3	99 (2,032)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	M16b	22	20	29	22	0	6	99 (1,905)
X (1998)	K30b	17	20	34	24	-	5	100 (1,339)

#7.25 お金と仕事

〔リスト〕仕事について、つぎの2つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか？

1	いくらお金があっても、仕事が無ければ、人生はつまらない	
2	お金があれば、仕事が無くても、人生がつまらないとは思わない	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 仕事 が な け れ ば つ ま ら な い	2 も よ い 事 が な く て	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	K24	83	14	1	2	100 (2,256)
	K+M	77	19	1	2	99 (3,682)
VIII (1988)	K23	80	17	1	2	100 (1,858)
	M11	75	21	2	2	100 (1,824)
IX (1993)	M12	75	22	0	3	100 (1,905)
X (1998)	M11	76	21	1	2	100 (1,341)

#7.29 くらしむき

[リスト] 現在のお宅のくらしむきは、次の5つに分けるとすれば、どれに当たるでしょうか？

1	非常に豊か	
2	やや豊か	
3	ふつう	
4	やや貧しい	
5	非常に貧しい	
6	その他 [記入]	7 D. K.

	問	1 豊か 非常に	2 やや 豊か	3 ふつ う	4 やや 貧しい	5 非常 に貧しい	6 その 他	7 D.K.	計
I (1953)	×								
II (1958)	×								
III (1963)	×								
IV (1968)	×								
V (1973)	×								
VI (1978)	×								
VII (1983)	×								
VIII (1988)	M12	1	10	72	14	2	0	0	99 (1,824)
IX (1993)	M15	1	12	73	11	2	-	0	99 (1,905)
X (1998)	M16	1	9	73	14	3	-	0	100 (1,341)

#7.30a 生活水準 10 年の変化

[リスト] あなたの生活水準は、この 10 年間でどう変わりましたか？

1	よくなった	
2	ややよくなった	
3	変わらない	
4	ややわるくなった	
5	わるくなった	
6	その他 [記入]	7 D. K.

	問	1 よ く な っ た	2 や や よ く な っ た	3 変 ら な い	4 や や わ る く な っ た	5 な る く な っ た	6 そ の 他	7 D. K.	計
I (1953)	×								
II (1958)	×								
III (1963)	×								
IV (1968)	×								
V (1973)	×								
VI (1978)	×								
VII (1983)	M14a	17	32	35	10	4	0	1	99 (2,173)
VIII (1988)	M25	10	31	43	10	4	0	1	99 (1,824)
IX (1993)	M24	9	31	46	10	3	-	1	100 (1,905)
X (1998)	M26	4	24	42	22	7	-	1	100 (1,341)

#7.35 環境の保護は重要か

[リスト] 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか？

1	非常に重要である	
2	重要である	
3	あまり重要ではない	
4	重要ではない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 非常に 重要である	2 重要である	3 あまり重要 ではない	4 重要 ではない	5 その他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	M27b	37	50	9	1	1	3	101 (2,173)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	K36	50	43	5	0	-	2	100 (1,833)
X (1998)	K35	49	43	6	0	-	2	100 (1,339)

#7.36 科学上の発見・利用は生活に役立つか

[リスト] 科学上の発見とその利用は、どの程度あなたの日常生活の改善に役立っていると思いますか？

1 役立っている	
2 少しは役立っている	
3 役立っていない	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 役立 っている	2 少し は役 立っ ている	3 役立 って いな い	4 そ の 他	5 D. K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	×						
VI (1978)	×						
VII (1983)	M28	39	48	7	1	4	99 (2,173)
VIII (1988)	×						
IX (1993)	K35	47	41	6	0	6	100 (1,833)
X (1998)	K34	40	44	8	-	7	99 (1,339)

#7.40 社会は公平か

[リスト] 一般的に言って、今の日本の社会は公平だと思いますか。あなたの気持は、つぎのうちのどれに近いですか？

1	公平だ	
2	だいたい公平だ	
3	あまり公平でない	
4	公平でない	
5	その他 [記入]	
6	D. K.	

	問	1 公平だ	2 だいたい 公平だ	3 あまり 公平でない	4 公平でない	5 その他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	M23	3	33	47	15	0	2	100 (1,905)
X (1998)	M25	2	24	50	23	0	1	100 (1,341)

#7.82 アリとキリギリス

[リスト] イソップの童話の中に、^{なま}怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには、次のような2つの型があります。あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにじっくりしますか？

- | | |
|---|--|
| 1 | 夏の間 ^{なま} 怠けていたのだから、困るのが当然だと追い返してしまう |
| 2 | ^{なま} 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物をわけてあげる |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 追 い 返 す	2 食 べ 物 を わ け る	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	K29	12	85	0	3	100 (1,833)
X (1998)	K31	13	85	0	2	100 (1,339)

§8 政治的態度

#8.1b 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「日本の国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成 [まかせる]	
2 反対 [まかせっきりはいけない]	
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 賛成	2 反対	3 その他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K 8	32	58	2	7	99 (2,032)
VII (1983)	K+M	33	60	3	5	101 (4,429)
	K10	33	60	2	5	100 (2,256)
	M 7	32	59	3	5	99 (2,173)
VIII (1988)	K 8	30	61	4	5	100 (1,858)
IX (1993)	K 7	24	68	1	7	100 (1,833)
X (1998)	K 8	26	67	1	6	100 (1,339)

[参考]

#8.1 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「日本の国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成 [まかせる]	
2 時, 人による	
3 反対 [まかせっきりはいけない]	
4 そんなにすぐれた人が出るとは考えられない	
5 その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 賛 成	2 よ る 時 , 人 に	3 反 対	4 は そ ん な い 人	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	30 ⁽¹⁾	43	9	38	3	0	7	100 (2,254)
II (1958)	$\frac{12}{112}$	35	10	44	2	0	9	100 (2,369)
III (1963)	11	29	13	47	4	1	7	101 (2,698)
IV (1968)	12	30	10	51	3	1	5	100 (3,033)
V (1973)	K15	23	15	51	5	1	6	101 (3,055)
VI (1978)	×							
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	×							
X (1998)	×							

注) 第1次(1953)調査の質問文は以下のとおり。

「日本の復興の為には、すぐれた政治家が出てきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせた方がよい」という意見がありますが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

#8.6 選挙への関心

[リスト] あなたは衆議院の総選挙があるとき、ふつうはどうしますか？

1	なにをおいても投票する	
2	なるべく投票するようにつとめる	
3	あまり投票する気にならない	
4	ほとんど投票しない	
5	その他 [記入]	6 D.K.

	問	1 投票 なにをおいても	2 なるべく投票	3 気にならない あまり投票する	4 ほとんど 投票しない	5 その他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	³⁴ 134	62	32	3	2	1	1	101 (2,369)
III (1963)	33	53	41	4	1	0	1	100 (2,698)
IV (1968)	38	51	44	4	1	0	0	100 (3,033)
V (1973)	K39	41	50	6	2	0	0	99 (3,055)
VI (1978)	M18	45	47	5	3	0	0	100 (1,913)
VII (1983)	M31	39	48	9	3	0	0	99 (2,173)
VIII (1988)	K+M	34	50	10	5	0	0	99 (3,682)
	K28	32	52	10	6	0	0	100 (1,858)
	M21	36	49	10	5	0	0	100 (1,824)
IX (1993)	K31	40	50	7	3	0	0	100 (1,833)
X (1998)	K33	37	47	9	6	0	0	99 (1,339)

#8.7h 支持政党

あなたは何党を支持していらっしゃいますか？

1	自民党	
2	民主党	
3	新党平和・公明	
4	自由党	
5	共産党	
6	社民党	
7	改革クラブ	
8	新党さきがけ	
9	その他の政党 [記入]	
10	支持政党なし	11 D. K.

	問	1 自民党	2 民主党	3 新党平和・公明	4 自由党	5 共産党	6 社民党	7 改革クラブ	8 新党さきがけ	9 その他の政党	10 支持政党なし	11 D.K.	計
I (1953)	×												
II (1958)	×												
III (1963)	×												
IV (1968)	×												
V (1973)	×												
VI (1978)	×												
VII (1983)	×												
VIII (1988)	×												
IX (1993)	×												
X (1998)	K+M	21	8	3	2	3	3	0	0	0	57	3	100 (2,680)
	K37	22	7	3	2	3	3	0	0	0	57	3	100 (1,339)
	M33	20	8	3	1	3	3	-	0	0	57	3	98 (1,341)

[参考]

#8.7 支持政党

あなたは何党を支持していらっしゃいますか？

1	自民党	
2	民社党	
3	社会党	
4	共産党	
5	公明党	
6	新自由クラブ	
7	社会民主連合	
8	支持政党なし	
9	その他 [記入]	10 D. K.

	問	1 自民党	2 民社党	3 社会党	4 共産党	5 公明党	6 新自由クラブ	7 社会民主連合	8 支持政党なし	9 その他	10 D.K.	計
I (1953)	注1) 58	40	*	23	0	*	*	*	20	5	12	100 (2,254)
II (1958)	35 135	38	*	30	0	*	*	*	20	1	10	99 (2,369)
III (1963)	35	43	3	22	0	2	*	*	22	1	7	100 (2,698)
IV (1968)	39	41	4	22	2	4	*	*	21	3	4	101 (3,033)
V (1973)	K+M	33	3	17	3	4	*	*	33	2	6	101 (4,594)
	K40	35	3	17	3	4	*	*	31	2	5	100 (3,055)
	M28	30	2	17	3	3	*	*	37	1	7	100 (1,539)
VI (1978)	K+M	34	3	14	3	4	1	0	34	2	5	100 (3,945)
	K31	35	3	14	2	4	1	0	34	2	5	100 (2,032)
	M26	34	2	14	3	5	1	0	33	2	5	99 (1,913)
VII (1983)	K+M	39	4	13	3	4	1	0	32	1	4	101 (4,429)
	K支持	39	4	12	3	5	0	0	33	1	3	100 (2,256)
	M支持	39	4	13	3	4	1	0	31	1	4	100 (2,173)
VIII (1988)	注2) K+M	36	2	14	2	3	*	0	38	1	4	100 (3,682)
	K支持	36	2	14	2	3	*	0	39	1	3	100 (1,858)
	M支持	36	2	15	2	4	*	0	36	1	4	100 (1,824)
IX (1993)	×											
X (1998)	×											

注1) 第1次(1953)調査では、1 自由党と改進黨、3 左右社会党

注2) 第8次(1988)調査では、6 社会民主連合、7 その他、8 支持政党なし、9 D. K.

[参考]

#8.7g 支持政党

あなたは何党を支持していらっしゃいますか？

1	自民党
2	社会党
3	新生党
4	公明党
5	日本新党
6	民社党
7	共産党
8	新党さきがけ
9	社会民主連合
10	その他の政党 [記入]
11	支持政党なし
12	D. K.

	問	1 自民党	2 社会党	3 新生党	4 公明党	5 日本新党	6 民社党	7 共産党	8 新党さきがけ	9 社会民主連合	10 その他の政党	11 支持政党なし	12 D.K.	計
I (1953)	×													
II (1958)	×													
III (1963)	×													
IV (1968)	×													
V (1973)	×													
VI (1978)	×													
VII (1983)	×													
VIII (1988)	×													
IX (1993)	K+M	27	9	5	3	6	1	1	1	0	0	41	4	98 (3,738)
	K39	29	8	5	4	6	1	1	1	0	0	41	4	100 (1,833)
	M33	25	10	6	3	6	2	2	1	0	0	42	3	100 (1,905)
X (1998)	×													

#8.9 社会不満の表し方

[リスト] 仮りに、あなたが社会に対して不満があるとしたら。その場合、あなたはどのような態度をとりますか？

1	選挙で投票するときに、考慮する	
2	合法的な陳情、署名あつめ、デモ、ストライキなどをする	
3	場合によっては、非合法の手段をとることもありうる	
4	たとえ不満があっても、別になにもしない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 選挙で 考慮	2 合法的 に	3 場合により 非合法の 手段	4 なにもし ない	5 その他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	M24	37	15	4	38	1	4	99 (1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M22	42	6	3	46	1	3	101 (1,824)
IX (1993)	M21	49	7	5	34	0	5	100 (1,905)
X (1998)	M23	51	10	5	31	0	4	101 (1,341)

§9 日本人・人種

#9.1 日本人の性格（長所）

[リスト] つぎのうち、日本人の性質をあらわしていると思うコトバがあったら、いくつでもあげてください？

1	合理的
2	勤勉
3	自由を尊ぶ
4	淡白
5	ねばり強い
6	親切
7	独創性にとむ
8	礼儀正しい
9	明朗
10	理想を求める
11	その他 [記入]
12	D. K.

	問	1 合理的	2 勤勉	3 自由を尊ぶ	4 淡白	5 ねばり強い	6 親切	7 独創性にとむ	8 礼儀正しい	9 明朗	10 理想を求める	11 その他	12 D.K.	計 (複数回答)
I (1953)	×													
II (1958)	$\frac{28}{128}$	11	55	15	19	48	50	8	47	23	32	-	12	— (2,369)
III (1963)	32a	8	60	10	15	55	42	7	43	14	23	1	9	— (2,698)
IV (1968)	37a	10	61	12	13	58	45	8	47	13	23	1	5	— (3,033)
V (1973)	K38a	13	66	9	14	52	31	7	37	9	21	1	6	— (3,055)
VI (1978)	×													
VII (1983)	K31	22	69	17	12	61	42	11	47	12	30	1	2	— (2,256)
VIII (1988)	K30	22	72	14	13	50	38	10	50	9	27	1	3	— (1,858)
IX (1993)	×													
X (1998)	K36	18	71	13	14	51	42	7	50	8	23	0	4	— (1,339)

#9.6 日本人・西洋人の優劣

日本人は西洋人とくらべて、ひとくちでいえばすぐれていると思いますか、それとも劣っていると思いますか？

1	すぐれている	
2	劣っている	
3	同じだ	
4	ひとくちではいえない	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 すぐ れて いる	2 劣っ てい る	3 同 じ だ	4 ひ と く ち で は い え な い	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	25	20	28	14	21	1	15	99 (2,254)
II (1958)	×							
III (1963)	30	33	14	16	27	1	9	100 (2,698)
IV (1968)	35	47	11	12	21	1	7	99 (3,033)
V (1973)	K16	39	9	18	26	0	7	99 (3,055)
VI (1978)	×							
VII (1983)	K11	53	8	12	21	2	5	101 (2,256)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	K17	41	6	27	20	0	5	99 (1,833)
X (1998)	K17	33	11	32	19	0	6	101 (1,339)

#9.12 日本の「科学技術の水準」

[リスト] 現在の日本は「科学技術の水準」という点では、つぎの4つのどれに当たると思いますか？

1	非常によい	
2	ややよい	
3	ややわるい	
4	非常にわるい	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 よ 非 常 に	2 よ や い や	3 わ や る や い	4 わ 非 常 に	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	M25a	33	49	6	2	0	10	100 (1,539)
VI (1978)	M22a	37	48	5	1	1	9	101 (1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27a	43	45	4	1	0	7	100 (1,824)
IX (1993)	M28a	46	43	3	0	0	7	99 (1,905)
X (1998)	M29a	24	57	10	1	-	8	100 (1,341)

#9.12b 日本の「芸術」

[リスト] では、「芸術」という点では、日本はどれでしょうか？

1	非常によい	
2	ややよい	
3	ややわるい	
4	非常にわるい	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 よ 非 い 常 に	2 よ や い や	3 わ や る や い	4 わ 非 る 常 い に	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	M25b	14	48	16	2	0	19	99 (1,539)
VI (1978)	M22b	18	53	12	2	1	14	100 (1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27b	12	47	24	4	1	12	100 (1,824)
IX (1993)	M28b	14	54	19	2	0	11	100 (1,905)
X (1998)	M29b	7	54	23	3	0	12	99 (1,341)

#9.12c 日本の「経済力」

[リスト] では、「経済力」という点では、日本はどれでしょうか？

1	非常によい	
2	ややよい	
3	ややわるい	
4	非常にわるい	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 よ い 非 常 に	2 よ や い や	3 わ や る や い	4 わ る 非 常 に	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	M25c	25	42	19	5	1	9	101 (1,539)
VI (1978)	M22c	23	43	19	5	0	8	98 (1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27c	42	40	10	2	0	6	100 (1,824)
IX (1993)	M28c	33	46	14	3	0	4	100 (1,905)
X (1998)	M29c	4	28	42	23	-	3	100 (1,341)

#9.12d 日本の「生活水準」

[リスト] では、「生活水準」という点では、日本はどれでしょうか？

1	非常によい	
2	ややよい	
3	ややわるい	
4	非常にわるい	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 よ い 非 常 に	2 よ や い や	3 わ や る や い	4 わ る よ い 非 常 に	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	M25d	9	42	32	10	1	5	99 (1,539)
VI (1978)	M22d	11	52	25	7	1	4	100 (1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27d	17	56	19	3	1	4	100 (1,824)
IX (1993)	M28d	16	58	20	2	0	3	99 (1,905)
X (1998)	M29d	5	48	38	6	-	2	99 (1,341)

#9.12e 日本の「心の豊かさ」

[リスト] では、「心の豊かさ」という点では、日本はどれでしょうか？

1	非常によい	
2	ややよい	
3	ややわるい	
4	非常にわるい	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 よ 非 常 に	2 よ や い や	3 わ や る や い	4 わ る 非 常 に	5 そ の 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	M25e	6	33	40	14	1	6	100 (1,539)
VI (1978)	M22e	6	39	37	11	1	5	99 (1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27e	4	34	41	14	0	5	98 (1,824)
IX (1993)	M28e	4	37	43	11	0	5	100 (1,905)
X (1998)	M29e	2	24	50	21	0	3	100 (1,341)

#9.14 外国人との結婚

もし自分の子供が、「外国人と結婚したい」と言ったとしたら、あなたは、賛成しますか、それとも、反対しますか？

1 賛成する	
2 反対する	
3 場合による	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 賛成する	2 反対する	3 場合による	4 その他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	×						
VI (1978)	×						
VII (1983)	×						
VIII (1988)	M 3	29	36	28	4	2	99 (1,824)
IX (1993)	M 3	30	34	31	2	3	100 (1,905)
X (1998)	M 6	40	29	28	1	3	101 (1,341)

#9.16 国際貢献

[リスト] これからの日本について、つぎの二つの意見があります。あなたの気持はどちらに近いですか？

1	自分たちの生活水準が多少落ちて、外国を助けるべきだ	
2	まだまだ自分たちの生活水準を上げることを考えるべきだ	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 外国 助ける	2 生 活 水 準 上 げ る	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M29	35	57	1	6	99 (1,905)
X (1998)	M31	39	53	1	7	100 (1,341)

#9.17 地球環境

[リスト] 地球環境と自分たちの生活との関係について、つぎの二つの意見があります。あなたの気持はどちらに近いですか？

- 1 自分たちの生活が今より多少不便になっても、地球環境を守るために、ひとりひとりが努力すべきだ
- 2 まだまだ自分たちの生活を、より便利にすることを考えるべきだ
- 3 その他 [記入] 4 D. K.

	問	1 ひとり ひとり 努力	2 自分 たち の 生活 便利 に	3 そ の 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	×					
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M30	79	17	0	4	100 (1,905)
X (1998)	M30	85	13	0	2	100 (1,341)

III 調査項目一覧表

調査項目一覧表

(全国調査のみ)

§	項 目		全 国													ページ						
	#	見 出 し	I 1953	II 1958		III 1963	IV 1968	V 1973		VI 1978		VII 1983		VIII 1988			IX 1993		X 1998			
§1 基 本 項 目	1.1	性	1	1	101	性	性	K性	M性	K性	M性	K性	M性	K性	M性	K性	M性	K性	M性	35		
	1.2	年 齢	1	1	101	年 齢	年 齢	K年 齢	M年 齢	K年 齢	M年 齢	K年 齢	M年 齢	K年 齢	M年 齢	K年 齢	M年 齢	K年 齢	M年 齢	35		
	1.2b	婚姻・子	56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K40	M36	36
	1.3	学 歴	55	32a	132a	学歴	学歴	K学歴	M学歴	K学歴	M学歴	K学歴	M学歴	K学歴	M学歴	K40	M34	K38	M34	37		
	1.4	職 業	57	31a	131a	職業	職業	-	-	K職業	M職業	K職業	M職業	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1.4*	職 業	-	-	-	-	-	-	K職業	M30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1.4b	職 業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K職業a	M職業a	-	-	-	-	-	
	1.4c	職業（新形式）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K職業b	M職業b	K41b	M35b	K39	M35	38	
	1.4d	勤務形態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K41a	M35a	-	-	-	
	1.5	市郡別	} サンプルング台帳より																		39	
	1.6	地方別																			40	
	1.7	おくに（生まれ）	-	33	133	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41
	1.8	帰属階層	-	-	-	-	-	-	-	-	K33	M30	K32	M23	K37	M22	-	M24	-	-	-	
	1.9	所有（財産）	-	-	-	-	-	-	-	-	K所有	M所有	K所有	M所有	K38	M32	-	-	-	-	-	
1.10	新聞よむか	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1.10b	ラジオのニュースきくか	53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1.10c	映画みるか	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1.30	騒 音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M29	-	-	-	-	-	-	-	-		
§2	2.1	しきりに従うか	4	7	107	7	8	K11	-	K6	-	K6	M5	K7	-	K6	-	K7	-	42		
	2.2	反対をおしきって実行	-	27	127	19	21	K27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	2.2b	スジかまるくか	-	-	-	-	-	-	-	K13	-	K27	-	K25	-	K28	-	K29	-	43		
	2.3	幸福か	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	2.3b	住所に満足か	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	2.3c	家庭に満足か	-	-	-	-	-	-	M9a	-	M5a	K32a	-	-	-	-	M20c	-	M21c	46		
	2.3d	社会に満足か	-	-	-	-	-	-	M9b	-	M5b	K32b	M19	K31b	M20b	-	M20a	-	M21a	44		

個	2.3f	生活環境に満足か	-	-	-	-	-	-	-	-	M12	-	-	-	-	-	-			
	2.3g	健康状態満足か	-	-	-	-	-	-	-	-	M13	-	-	-	-	-	-			
人	2.3h	くらしむき満足か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K31a	M20a	-	-	-	-			
	2.3i	仕事や職場に満足か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M20b	-	M21b	45			
的	2.3j	余暇に満足か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M20d	-	M21d	47			
	2.3k	健康状態に満足か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M20e	-	M21e	48			
人	2.3l	生活全体に満足か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M20f	-	M21f	49			
	2.4	くらし方	39	22	-	26	31	K34	-	K19	-	K20	M20	K18	M9	K22	M10	K22	-	50
的	2.4*	くらし方	-	-	-	-	-	M26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2.5	自然と人間との関係	34	15	-	15	17	K23	M20	K16	-	K17	M17	K15	-	K19	-	K19	-	51
的	2.6	過去と将来	44	-	-	-	18	K24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2.7	一番大切なもの	47	29	129	29	34	K41	-	K32	-	K13	-	K11	-	K10	-	K10a	-	52
的	2.7a2	二番大切なもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K10b	-	53
	2.7b	あなたの趣味は	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K12	-	K10	-	K9	-	-	-	
態	2.8	一生働くか	-	-	-	-	-	M2	K1	-	K2	M1	K3	M1	-	M1	-	M4	-	54
	2.9	ムダにしているか	-	-	-	-	-	M6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
度	2.10	幸福かためになることか	-	-	-	-	-	M11	-	-	-	-	-	-	-	-	K25	-	-	55
	2.11	好きなくらし方が人のためか	-	-	-	-	-	-	-	M6	K21a	-	K19	M10	-	M11	-	M10	-	56
度	2.11b	可能性をためすか	-	-	-	-	-	-	-	-	K21b	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2.12	他人のためか自分のためか	-	-	-	-	-	-	K27	-	K7	-	-	-	K14	-	K14	-	-	57
度	2.12b	スキがあれば利用されるか	-	-	-	-	-	-	K28	-	K8	-	-	-	K15	-	K15	-	-	58
	2.12c	人は信頼できるか	-	-	-	-	-	-	K29	-	K9	-	-	-	K16	-	K16	-	-	59
度	2.13	将来に備えるか楽しむか	-	-	-	-	-	-	-	M7	-	-	K20	-	-	M13	-	M12	-	60
	2.30	不安感 重い病気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25a	-	-	-	-	-	M15a	-	61
度	2.30b	仕事上の事故	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25b	-	-	-	-	-	-	-	
	2.30c	街での暴力	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25c	-	-	-	-	-	M15b	-	62
度	2.30d	交通事故	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25d	-	-	-	-	-	M15c	-	63
	2.30e	失業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25e	-	-	-	-	-	M15d	-	64
度	2.30f	戦争	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25f	-	-	-	-	-	M15e	-	65

身	5.6	めんどろをみる課長	35	-	117	21	23	K29	-	K22	-	K23	M22	K22	M18	K26	-	K27	-	91	
	5.6*	上役とのつき合い	-	-	-	-	-	-	M5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M9	92	
	5.6b	つとめたい会社	-	-	-	-	-	-	M18	K23	-	-	-	-	-	M19	-	M20	-	93	
	5.6c	嫌いな旅行-いくべきか	-	-	-	-	-	-	-	K25a	-	-	-	-	M19a	-	-	-	-	-	
	5.6d	嫌いな旅行-世間では	-	-	-	-	-	-	-	K25b	-	-	-	-	M19b	-	-	-	-	-	
	5.6e	課長-ヨメの世話	-	-	-	-	-	-	-	K30a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.6f	課長-引越し	-	-	-	-	-	-	-	K30b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.6g	課長-居残り	-	-	-	-	-	-	-	K30c	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.6h	他人との仲か仕事か	-	-	-	-	-	-	-	K14	-	K26	-	-	-	-	K27	-	K28	-	94
	5.7	近所・安い・有名な店	36	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
近	5.8	共同炊事	40	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.9	秀吉は若者の手本	6	-	-	-	-	K9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.10	四十七士はよいか	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.16	三万円の借用書	-	-	-	-	26	-	-	-	M10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.17	社会生活で注意しあう	-	-	-	-	-	-	M12	-	M9	-	-	-	-	-	-	-	M22	95	
	5.18	友人のタイプ	-	-	-	-	-	-	M14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.19	議論をつくすか	-	-	-	-	-	-	M19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.19b	議論をつくすか	-	-	-	-	-	-	-	K20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.20	「自由」は大切か	-	-	-	-	-	-	M24a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.20b	「規律」は大切か	-	-	-	-	-	-	M24b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
社	5.20c	「宗教的な心」は大切か	-	-	-	-	-	-	M24c	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.20d	「国を愛するということ」は大切か	-	-	-	-	-	-	M24d	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.20e	「先祖をとうとぶこと」は大切か	-	-	-	-	-	-	M24e	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.20f	「親孝行」は大切か	-	-	-	-	-	-	M24f	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.20g	「恩返し」は大切か	-	-	-	-	-	-	M24g	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.20h	「お金」は大切か	-	-	-	-	-	-	M24h	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.21	課長の選挙違反	-	-	-	-	-	-	-	-	M14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.22	金か人間のつながりか	-	-	-	-	-	-	-	-	M8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.23	能力か功労か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M8	-	M8	96	

§	項 目		全 国										ページ						
	#	見 出 し	I 1953	II 1958	III 1963	IV 1968	V 1973	VI 1978	VII 1983	VIII 1988	IX 1993	X 1998							
§7 一 般 の 社 会 的 問 題 (awびじ)	7.21d	金にきちょうめん	-	-	-	-	-	-	M4d	-	-	-	-	-	-	-			
	7.21e	無理して金をかせぐか	-	-	-	-	-	-	M4e	-	-	M16a	-	-	-	-			
	7.22	万事金か	-	-	-	-	-	-	M11b	-	-	M16b	-	-	M27	122			
	7.23	事故と先生—本人の意見	-	-	-	-	-	-	M13a	K28a	-	K26a	-	-	-	-			
	7.23b	事故と先生—一般の親は	-	-	-	-	-	-	M13b	K28b	-	K26b	-	-	-	-			
	7.24	就職の第1の条件	-	-	-	-	-	-	K24a	-	K25	M23	K24	M17	-	M16a	K30a	M17	123
	7.24b	就職の第2の条件	-	-	-	-	-	-	K24b	-	-	-	-	-	-	M16b	K30b	-	124
	7.25	お金と仕事	-	-	-	-	-	-	-	K24	-	K23	M11	-	M12	-	M11	-	125
	7.29	くらしむき	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M12	-	M15	-	M16	-	-	126
	7.29b	たけのこ生活	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M24	-	M31	-	-	-	-	-
	7.30a	生活水準 10 年の変化	-	-	-	-	-	-	-	-	M14a	-	M25	-	M24	-	M26	-	127
	7.30b	日本人の生活水準	-	-	-	-	-	-	-	-	M14b	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.31	今後の生活水準	-	-	-	-	-	-	-	-	M15	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.32	お金とコネがあればい仕事が行われるか	-	-	-	-	-	-	-	-	M24	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.33	コンピュータ社会は好ましいか	-	-	-	-	-	-	-	-	M26	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.34	省エネルギーは重要か	-	-	-	-	-	-	-	-	M27a	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.35	環境の保護は重要か	-	-	-	-	-	-	-	-	M27b	-	-	K36	-	K35	-	-	128
	7.36	科学上の発見・利用は生活に役立つか	-	-	-	-	-	-	-	-	M28	-	-	K35	-	K34	-	-	129
	7.37	自分だけとり残されているか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M8	-	-	-	-	-	-
	7.38	努力は報われるか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M14	-	-	-	-	-	-
7.39a	社会のために働く人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M15a	-	-	-	-	-	-	
7.39b	仕事に打ち込む人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M15b	-	-	-	-	-	-	
7.40	社会は公平か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M23	-	M25	-	130	
7.82	アリとキリギリス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K29	-	K31	-	131	

§8 政 治 的 態 度	8.1	政治家にまかせるか	30	12	112	11	12	K15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	133		
	8.1*	政治家にまかせるか	-	-	-	-	-	-	M8	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8.1b	政治家にまかせるか	-	-	-	-	-	-	-	K8	-	K10	M7	K8	-	K7	-	K8	132	
	8.2	「民主主義」はよい感じか	-	-	123a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.2b	「資本主義」はよい感じか	-	-	123b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.2c	「自由主義」はよい感じか	-	-	123c	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.2d	「社会主義」はよい感じか	-	-	123d	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.2e	「民主主義」はよいか	-	-	-	27a	32a	K35a	-	-	-	-	-	-	-	-	K32a	-	-	-
	8.2f	「資本主義」はよいか	-	-	-	27b	32b	K35b	-	-	-	-	-	-	-	-	K32b	-	-	-
	8.2g	「自由主義」はよいか	-	-	-	27c	32c	K35c	-	-	-	-	-	-	-	-	K32c	-	-	-
	8.2h	「社会主義」はよいか	-	-	-	27d	32d	K35d	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8.2i	「共産主義」はよいか	-	-	-	-	-	K35e	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8.2j	「全体主義」はよいか	-	-	-	-	-	K35f	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8.3	科学者と政治	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8.3b	専門の研究と政治	43	-	-	24	29	K32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8.4	校長の礼服	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8.4b	校長の礼服	-	-	-	-	3	K4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8.5	社会問題への関心	-	30a(b)	130a(b)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8.6	選挙への関心	-	34	134	33	38	K39	-	-	M18	-	M31	K28	M21	K31	-	K33	-	134
8.7	支持政党	58	35	135	35	39	K40	M28	K31	M26	K支持	M支持	K支持	M支持	-	-	-	-	136	
8.7g	支持政党	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K39	M33	-	-	137	
8.7h	支持政党	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K37	M33	135	
8.8	社会は変えるべきか	-	-	-	-	-	-	-	K26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8.9	社会不満の表し方	-	-	-	-	-	-	-	-	M24	-	-	-	M22	-	M21	-	M23	138	
8.10	福祉国家の是非	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K33	-	-	-	-	
8.11	憲法改正に賛成か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M9	-	-	-	
8.80	国家目標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	K34	-	-	-	-	

§	項 目		全 国										ページ
	#	見 出 し	I 1953	II 1958	III 1963	IV 1968	V 1973	VI 1978	VII 1983	VIII 1988	IX 1993	X 1998	
§9 日 本 人 種	9.1	日本人の性格（長所）	-	28 128	32a	37a	K38a -	- -	K31 -	K30 -	- -	K36 -	139
	9.1c	日本人の性格（短所）	-	- -	32b	37b	K38b -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.3	日本の庭・西洋の庭	32	21 -	25	30	K33 M23	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.3b	パリ・イラン・ニューヨークの建物	33	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.4	立派な人物	-	- -	34	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.5	日本人・西洋人の残酷	-	25 -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.6	日本人・西洋人の優劣	25	- -	30	35	K16 -	- -	K11 -	- -	K17 -	K17 -	140
	9.7	すぐれた人種	-	- 124	31	36	K37 -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.8	人種の能力差	-	- 125	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.9	日本の立場	-	- 113	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.10	国旗をあげること（競技）	7	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.10b	国旗をあげること（競技）	-	- -	-	-	K17 -	- -	- -	- -	- -	- -	
	9.12	日本の「科学技術の水準」	-	- -	-	-	- M25a	- M22a	- -	- M27a	- M28a	- M29a	141
	9.12b	日本の「芸術」	-	- -	-	-	- M25b	- M22b	- -	- M27b	- M28b	- M29b	142
	9.12c	日本の「経済力」	-	- -	-	-	- M25c	- M22c	- -	- M27c	- M28c	- M29c	143
	9.12d	日本の「生活水準」	-	- -	-	-	- M25d	- M22d	- -	- M27d	- M28d	- M29d	144
	9.12e	日本の「心の豊かさ」	-	- -	-	-	- M25e	- M22e	- -	- M27e	- M28e	- M29e	145
9.13	日本文化の国際化	-	- -	-	-	- -	- M21	- -	- -	- -	- -		
9.14	外国人との結婚	-	- -	-	-	- -	- -	- -	- M3	- M3	- M6	146	
9.15	外国旅行の経験	-	- -	-	-	- -	- -	- -	- M4	- M4	- -		
9.16	国際貢献	-	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- M29	- M31	147	
9.17	地球環境	-	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- M30	- M30	148	

Research Report
General Series No.83

A STUDY OF THE JAPANESE NATIONAL CHARACTER

— THE TENTH NATIONWIDE SURVEY —

[3rd Printing]

Research Committee
on the Study of the Japanese National Character

March 1999

The Institute of Statistical Mathematics
(TÔKEI SÛRI KENKYÛZYO)

4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku
Tokyo 106-8569, Japan